

Shibaura
Institute of
Technology

2017 June Vol.22

校友会
だより

創立 90 周年記念特別号



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

校友会は、昭和2年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、海外（台湾・シンガポール・タイ王国支部・上海）を含む北海道から沖縄までの地域に居住している卒業生で構成される地域支部、官庁や企業などに在職や退職の卒業生で構成される職域支部、学科支部、研究グループ・スポーツ等共通するグループの卒業生で構成される同好支部など現在89の支部を組織し、本部と連携して下記のような活動を行っています。

なお、校友会の目的は、会則第3条、第4条にかかげられているとおり、会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に母校の教育研究事業を援助し、母校の発展に寄与することとしております。

平成28年度実施の校友会活動計画の一部を列記しますと

- 1、在校生への就職支援活動
- 2、在校生の研究・実習活動への協力・卒業生による実学サロンの開催
- 3、在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
- 4、入学生への校歌CDの贈呈
- 5、新卒業生への記念品の贈呈
- 6、母校開催父母懇談会への協力
- 7、母校開催のホームカミングデーへの協賛
- 8、母校開催の賀詞交歓会への協賛
- 9、母校記念事業への協力
- 10、箱根駅伝予選会出場への支援活動
- 11、校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
- 12、校友会各支部への活動支援
- 13、全国卒業生の名簿編纂
- 14、資格取得講座の提供

などとなっております。また、来年度以降も各種の事業活動の協賛・支援等を含めさまざまな活動を行ってまいります。校友会は、これらの活動を通じて、芝浦工業大学の在校生、後援会及び教職員との連携及び協力関係を密にすることにより大学の社会的基盤をさらに強固なものとしたたく活動して参ります。今後とも校友会活動にぜひご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について	実学サロン 12
役員挨拶	第18回 実学サロン..... 14
会長挨拶..... 1	第20回 実学サロン..... 16
委員会挨拶	第21回 実学サロン..... 18
総務広報委員会..... 2	支部活動報告 20
財務委員会..... 2	“支部旗”全国にひるがえる..... 39
事業委員会..... 3	校友会「会員名簿」2016 発刊について..... 39
組織委員会..... 3	芝浦工業大学校歌CDの販売..... 39
例規委員会..... 4	常任幹事会、相談役・顧問名簿..... 40
特別委員会..... 4	支部及び支部長紹介..... 42
役員紹介 5	校友倶楽部のご案内..... 43
理事長挨拶 7	校友会HP コンテンツ紹介..... 44
学長挨拶 8	資格取得講座のご案内..... 46
建築学部開設 9	御寄付の御礼..... 47
shiba-Jo 10	大学オリジナルグッズのご紹介..... 47
	在学生就職支援ご協力のご願い..... 48
	編集者・協力者紹介..... 48
	広告..... 49

会長挨拶



芝浦工業大学 校友会

会長

鈴見 健夫

建築学科 昭和45年卒業

校友の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

母校は本年（2017年）創立90周年を迎えます。記念事業と致しまして新たに建築学部のスタート、附属中学高等学校の板橋から豊洲への移転による全国で初めての中高大一貫理系教育がスタート致します。

本年の入学試験の結果は、志願者数が38,598名と昨年比約5,000名の増加です。

建築学部も前年比30%以上の増加となりました。我々卒業生と致しましても大変うれしいニュースだと思います。

4月3日に入学式が東京国際フォーラムにおきまして挙行され、大学院も含め2,622名が入学致しました。本年も校友会プレゼンツとして、東京フィルハーモニー交響楽団によるミニコンサートが開催されました。始めにソリストであるバリトンの与那城敬氏による校歌の独唱があり、ワーグナーの歌劇「タンホイザー」より、大行進曲「パガニーニ「ラ・カンパネラ」」チャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲より第1楽章」エルガー行進曲「威風堂々」が、80名のオーケストラ（指揮 角田鋼亮）により演奏されました。父母も含め約4,000名の皆さんがその迫力に感激をしていました。初めてオーケストラを聞いた入学生も多かったと思います。是非、これを機会に芸術に触れる機会を持ち、感性豊かな工学技術者に育って欲しいと思います。今年も卒業生の席を用意致しましたが、平日のせいか空席が目立ちました。来年はもっと多くの校友の皆さんにも参加して戴けたらと思います。

4月11日には建築学部開設記念式典が帝国ホテルにて盛大に挙行されました。

1期生となる270名の新入生が建築家隈研吾さんの特別講演に耳を傾けていました。新入生の皆さんにはインパクトの強い一日になったと思います。

校友会は2年前から「在校生就職支援委員会」を組織し、大学のキャリアサポートセンターと協力して支援活動をしています。本年3月の卒業生の就職率は98%でした。もう少しで100%です。今後とも100%を目標に活動を続けますので、全国の校友の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

今年は10年ぶりに校友会名簿が発刊されました。現在の名簿発刊作業は、個人情報保護法の施行により非常に難しくなっています。校友会と致しましては、卒業生の皆様一人一人に情報の確認を致しながら編纂作業を進めてまいりました。大学の発展、ブランド力向上のためには、卒業生の強い結束とOB力の発信が必要です。この卒業生名簿が役に立つことを期待しています。

校友会役員一同は「役に立つ」校友会を目指し今後も活動してまいります。校友会へのご要望等ありましたら本部事務局に連絡頂きたいと思っております。

結びに卒業生ならびに、ご家族の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

林田 和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴

平成11年 常任幹事就任
平成15年 副会長就任 現在に至る

経 歴

昭和52年 設計事務所勤務
平成11年 港区議会議員 現在に至る

副会長に就任し任期3年間が経ちました。全国の地域支部・職域支部・同好支部・海外支部に所属される校友の皆様には日頃、校友会活動にご尽力頂き、また様々なご助言を賜り、心より御礼申し上げます。

新体制のもと発足した総務広報委員会は、校友会だよりの発行、実学サロン講座の充実、全国の校友との情報の共有化を推進するため発信力・受信力の強化に努めて参りました。

全世界の校友が一体となって、芝浦工業大学を支える体制づくりが、益々重要度を増しています。

平成29年は「芝浦工業大学創立90周年」の佳節を迎えました。また建築学科再編を目指し、建築学部部の開設も本年4月に発足をしています。更には付属中学・高等学校が新豊洲に移転完了し、中高大一貫教育の実質的な前進も図られました。いよいよ芝浦工業大学の本領発揮の時代を迎えます。

現代は世界をリードする人材の育成や、それを支える組織・団体の誕生が希求される時代であります。芝浦工業大学は、社会の期待に応え得る大学であり、世界に大きく羽ばたく人材を育成する日本屈指の教育機関であります。

世界経済の発展と世界平和に貢献する力ある人材の輩出こそ、本校の果たすべき使命であります。「社会に実学をもって貢献する」との建学精神を校友の皆様と共有しつつ、本学の卒業生の誇りも高く前進しようではありませんか。

活動内容

- ・ 広報活動の充実
 - ① 校友会HPの充実
 - ② 各支部活動の支援体制の強化
 - ③ 校友会だよりの発刊
- ・ 実学サロンの開催
- ・ 職員の労働環境の充実

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

神野 兼次

建築工学科
昭和 49 年 卒業

校友会歴

平成20年～ 常任幹事
平成23年～ 副会長例規委員長、財務委員長

経 歴

平成24年まで 戸田建設本社建築設備部長
平成24年～ 株式会社アベックエンジニアリング
代表取締役社長

副会長を拝命して、2期6年になります。皆様のお陰を持ちまして無事任期を全うすることが出来ました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

財務委員会は、決算書及び予算書を毎年の全国総会で承認後、厳密な予算管理を遂行して参りました。今期も厳しい予算となっておりますが、しっかりフォローして参ります。

今期は芝浦工業大学創立90周年を迎え、芝浦工業大学は益々パワーアップしております。

財務委員会としましても、限りある予算を有効に活用し、校友会活動、大学及び学生諸君への支援を実行して参ります。

100周年に向けた取り組みも視野に入れた活動のため、校友会諸氏の御指導御支援宜しくお願い申し上げます。

財務委員会活動

- ・ 基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
- ・ 予算書、決算書の作成
- ・ 補正予算の対応
- ・ 会計監査対応

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

畠中 総一郎

機械工学科
昭和43年卒業

校友会歴

平成25年まで 機械工学科同窓会支部長
平成26年～ 副会長・事業委員長

経歴

現在 有限会社ワンダー電機製作所 代表取締役社長
SEテクノ株式会社 代表取締役会長

会員の皆様、本年は母校創立90周年の節目の年です。事業委員長を拝命して、早いもので3年近くになります。このたびの全国総会・懇親会（6月10日）を持ちまして退任となります。振り返れば、1年目は何をやったらいいの右往左往するばかりでした。事業委員会のメンバーには何年も事業委員をやられた方がおられ、また事務局の助けを借り何とかここまで来た次第です。

本年の全国総会・懇親会は創立90周年と銘打って、予算も大幅にアップして頂き盛大に開催いたします。会場も昨年までのイースト21から品川プリンスホテルアネックスタワーの5階大会場を準備しました。また、ゲストには、あの懐かしいピンキーとキラーズのヴォーカル、今陽子さんをお招きしております。また、一昨年まで恒例でした、木遣りの先導でご来賓方の入場がありました。今年度は、江戸木遣り保存会の方々をお招きしており、お子様方をお連れしてはいかがでしょうか。もちろん纏（まとい）も入ります。

景品も150万円予算で今までにない豪華景品を用意いたします。実行委員長には、東京総支部長大丸先輩をお願いしております。事業委員・実行委員の皆様が、心よりお迎えいたします。来る6月10日（土）全国総会・懇親会にお越しください。事業委員・実行委員の皆様が、心よりお迎えいたします。是非、お仲間、ご家族お誘いの上お越しください。

最後に、この3年間、当職にご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

事業委員会 活動内容

- 1) 全国総会懇親会の企画運営
- 2) 新年賀詞交歓会の企画運営
- 3) 校友クラブ運営
- 4) 他・大学開催事の協力等

副会長・組織委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

前野 和博

工業経営学科
昭和46年卒業

校友会歴

平成25年 硬式野球部OB会 支部長
平成26年 副会長・組織委員長

経歴

平成13年 (株)東芝 北海道支社長
平成17年 三興電気(株) 代表取締役社長

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は組織委員会の活動にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。組織委員会の主な活動は、若手会員や女性会員の加入促進が喫緊の課題であります。母校が「スーパーグローバル大学」として国際化を目指しているなかで、校友会としても海外支部の立上げも重要な課題の一つであります。

本学学生の海外留学や海外からの留学生の受け入れ、並びに教職員の女性進出の促進等が益々活性化されると思われます。

昨年は海外では上海支部が設立され、本年3月には熱流体力学研究会支部が89番目の支部として設立されました。今後も女性支部や同好会支部等の加入を積極的に展開するのは勿論ですが、従来からの主要施策であります本部と支部間の情報の共有や、後援会との連携強化を推進し、校友会組織の活性化・拡充を図りたいと存じます。

本年は10年に一度の事業として、校友会名簿を発行することが出来ました。会員の皆様方には多いに有効活用して、更に交流の輪を拡げていただきたいと思います。

校友会の皆様におかれましては、校友会と母校芝浦工業大学の益々の発展とグローバル化、ブランド力向上のため、なお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念申し上げます。

組織委員会 活動内容

- ・ 組織の活性化・若手会員及び女性会員の加入促進
- ・ 本部と支部との連携強化。情報の共有化
- ・ 新規支部の開拓を推進。(H25年81→H27年87支部)
- ・ 後援会との交流推進(地域支部に展開)
- ・ 卒業生名簿の編纂(10年に1度名簿の発行。各年は追補版)

副会長・例規委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長
谷川 潮
機械工学第二学科
昭和 45 年 卒業

校友会歴

平成23年～ 校友会監査役就任
平成25年～ 東京総支部副支部長、多摩支部長就任
平成26年～ 副会長、例規委員長就任
平成26年～ 評議員就任（校友会選出）

経 歴

平成17年 東京いすゞ自動車(株) 専務取締役就任
平成21年～ 東京いすゞ自動車(株) 理事就任

校友会副会長・例規委員会委員長として約3年になります。例規委員会委員の委員8名と顧問の全9名で法律的なものの考え方に長けた方々と、時代や社会情勢と共に研鑽し、歴史を重ねながら作り上げられてきた例規集と委員を引き継いで活動を行っております。

芝浦工業大学（以下大学）は、創立100年となる2027年に、名実ともに理工系私学トップになる目標を掲げております。大学を取り巻く環境は、熾烈な大学間競争に勝ち抜き目標を実現するためには、迅速な意思決定と他大学に負けないスピーディーな改革の実行が必要であり、2011年度に掲げた改革路線の継続推進が実行されております。

このような改革の実行は、校友会として校友会の目的にある「母校の発展に寄与する」ことであり、大学の改革目的に沿う対応が必要です。校友会は大学の諮問機関である評議員に校友会員が参加しており、現在評議員改選の大学に対する推薦方法も大学の考えに沿った選考規則等が検討されております。

例規委員会は今後とも校友会運営に必要なと思われる実態の提起などを受け、実態に合わせた活動内容となるように会則、諸規則の内容の見直しを図って参ります。大学の源流、創立者有元史郎先生が開設した東京高等工商学校時の大先輩から、卒業したばかりの新人会員の同窓生、そして海外で活躍されておられる方々まで、母校、校友会に更なる関心を持っていただけるように情報交換と意見反映ができる様に仕組みとして具体的な提案も行っていききたいと思っております。大学、後援会、校友会が三位一体を図る中、在校生の支援活動も行っていきたいと思っております。校友会の皆様におかれましては引き続き積極的な「在校生就職支援」にご協力いただき、さらなる「芝浦ブランドの向上、校友会の輪拡大」にご支援ご鞭撻を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

例規委員会

例規委員会は平成15年3月11日に発足し、平成16年6月19日に例規集第1刊が発行され平成24年10月10日「芝浦工業大学校友会例規集」第2刊が発行されました。

例規集は校友会の発展とリンクし、全芝浦のブランド力の祖の一つに値するものと思っております。今後はその時々の事象を受け止め校友会会員の総意の基に民主的に運営、活動していきけるように検証しながら役割を果たしてまいります。

副会長・特別委員会委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長
枝広 英俊
建築学科
昭和 46 年 卒業

校友会歴

平成18年～平成23年 常任幹事
平成24年～現在 副会長・特別委員会委員長

経 歴

平成26年まで 母校建築学科教授
平成26年～ 母校名誉教授、母校建築会会長

母校の建築学科に在任中であった平成24年と、退職後の平成27年に校友会副会長として選出され、特別委員長をお引き受けしてから6年目を迎えました。箱根駅伝出場を目指して特別委員会が設置されてからおよそ12年、箱根駅伝予選会に出場して5年、特別委員会委員8名（角野・辻村副委員長、長澤・井出・浅見・佐々木・福田・新井の各委員）をはじめ、多くの大学関係者と各支部および校友会員の熱い支援と協力により活動を行ってきました。

この5年間の陸上部駅伝ブロックの予選会での成績は、テレビ・H.P等をご覧になった方はご存じのように、味澤善朗監督のご指導の下、平成24年に40位（11時間41分）、平成25年に31位（11時間07分）、平成26年に33位（11時間09分）、平成27年に33位（11時間07分）、平成28年に31位（11時間03分58秒；過去最高タイム）と、課題はありますが一応の成果を見ることができました。

その他、埼玉駅伝や奥多摩駅伝への出場、日本学生ハーフマラソンや琵琶湖マラソンへの挑戦など、学問を追究しながらの日頃の練習には目を見張るものがありました。今年度以降も、他の課外活動も含めて、後輩達のより一層の努力・活動を期待し支援をしていきたいと考えています。

本年度の全国総会後には現特別委員会のメンバーは改選されますが、新たな活動方針に基づいて学生への課外活動支援をはじめ、芝浦工業大学の発展・活性化のために皆様の更なるご協力をお願い致します。

特別委員会 活動内容

- ・箱根駅伝出場のための陸上部駅伝ブロック所属の学生支援（奨学金の給付等）
- ・昭和記念公園で11月に行われる箱根駅伝予選会と埼玉駅伝の応援
- ・本学学生の正課外活動の支援 など

役員紹介



芝浦工業大学 校友会

監査役

泉澤 定雄

建築学科

昭和46年卒業

校友会歴

平成15年6月 埼玉支部長に就任
平成17年7月 常任幹事に選出
平成20年9月 芝浦工業大学評議員に選出
平成23年6月 副会長に選出
平成26年6月 監査役に選出

経歴

昭和46年4月 (株)相和技術研究所に入社
平成13年5月 (株)相和技術研究所を退社
平成13年9月 (有)藍建築工房設立

「過去の財産を未来に継承する校友会」

大学は、人間の寿命を超えて生き続けます。しかも、絶えず発展と充実を繰り返しながら、歴史を刻んでいかねばならない存在です。その大学の評価は、卒業生によって決まると言われています。大学が先か、校友会が先か、というような次元の話ではありません。私たちが社会の中で活躍できるのは、先輩たちのお陰です。過去において、先人たちが営々として努力した結果によって今があります。現在の母校の社会的な立場は、一朝一夕でなったものではなく、不断の努力によって成り立っています。同じように、早く卒業した私たちは、自分の自己実現や心豊かな生活のために尽力しています。それが結果的には、これから卒業する後輩のためになります。

今年四月「建築学部」が誕生しました。オール芝浦の発展を象徴し、未来の方々に希望を与える出来事となりました。この新学部誕生に対する評価は、これからここで学ぶ学生が社会で活躍し、社会の中で存在感を高めたとき、価値あることであったと審判が下されます。

校友会には、大きくは三つの使命があると思います。一つは、同窓の方々に親睦の場を提供することであり、この目標の実現は極めて容易です。共に学び、共に遊んだ仲間とは、すぐに打ち解けます。二つには母校の発展に寄与することであり、これは校友会の大きな役割です。物心両面にわたり、大学とかかわりを持っていけることが理想です。三つは、そのために後輩の未来を有利に運んであげることです。学閥をつくるのではなく、後輩を優遇するのです。

校友会が永遠に発展の道を歩むために、後継の方々をリーダーとして輩出しなければならない。そのためには後輩が明るく、自由に活躍できる場を提供することが必要です。後輩にきれいにバトンタッチできれば、組織に活力が出ます。それを見ていた後輩たちは、次の後輩に未来を託します。私たちの行動が、豊かな実りを提供することになります。

開学100周年をめざし、お互い元気に、楽しく、未来に希望を持ち進んでいこうではありませんか。



芝浦工業大学 校友会

監査役

渡辺 碩

建築学科

昭和45年卒業

校友会歴

平成24年 常任幹事会議長
平成26年～ 監査役

経歴

(株)TAW建築設計事務所(昭和46年設立)

(株)ティ・オー・ピィ(昭和60年設立)

今年で常任幹事を退任致します。校友会の若返りを図る目的のため、70歳をもって後輩に道を譲る決まり事があり、多少、後ろ髪がひかれますが、校友会役員も退任致します。

この3年間、北は北海道から南は沖縄まで、全国を廻りました。色々な方々にお会いしました。芝浦工業大学の卒業生は全国に散らばり、その地に根付いて活躍している事を実感させられました。

地方に行くと、芝浦～芝浦～と校歌を皆で歌う時の、なんとも言えない高揚感がたまらなく好きです。名前を覚える事が苦手な私が、親睦ゴルフに参加して、顔と名前が段々一致してきて、支部総会の始まりの頃には初参加の気分がなくなり、酒宴の頃には旧知の友となる。校友とは素晴らしいものであると実感いたしました。これが、2度目の参加となると、支部長の顔がうかび、支部総会の日時を手帳に書き込む時がなんともいえません。

また、支部総会に出席するたび、意見交換を活発にさせてもらい、酒を酌み交わし、もてなしをうけました。思い出深い方々でいっぱいです。感謝しております。

この3年間、私の出来るかぎりの事をしてきたつもりです。

これで校友会の仕事から退きますが、後輩諸君の力で、校友会が益々発展する事を、切に願っております。

役員紹介



芝浦工業大学 校友会

監査役

飯島 敏春

機械工学科

昭和54年卒業

校友会歴

平成23年 本部選出幹事

平成26年 監査役・常任幹事

経歴

平成19年 横浜警送支店長

平成21年 日本通運(株)関東警送支店 部長

平成29年 日通商事(株)人事部調査役

平成26年の監査役就任より、今年で3年が過ぎました。全国の校友の皆様から色々なご助言を賜り、あらためて御礼申し上げます。

今年は、大学創立90周年の年を迎えます。昭和50年大学入学当時、芝浦工大応援歌の中で、「伝統～ここに～50年♪」と歌われておりましたが、早40年の月日が流れました。3年前、大学はSGUスーパーグローバル大学に採択され、今後、益々国際化が進み、海外の現地留学生や海外勤務の校友が増え参ります。国内地方支部の活性化は元より、海外支部に対しても支援できればと考えております。

また、企業が求める大学生を育成するため、文武両道の高校生を受け入れる指定校スポーツ加点制度を制定する事を目指し、大学とベクトルを合わせながら、微力ではございますが、校友会活動に尽力したく考えております。

最後に大学創立100周年に向けて、鈴見会長の下で、各支部の先輩方、後援会の皆様のご意見や情報を賜りながら適正な監査業務を遂行してゆく所存でございます。今後共、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



芝浦工業大学 校友会

常任幹事会議長

辻村 建

建築学科

昭和46年卒業

校友会歴

平成23年 常任幹事 選挙管理委員長

平成26年 常任幹事 常任幹事会議長

経歴

平成12年 大末建設(株) 取締役 東京本店副本店長

平成24年 芝浦工業大学 施設管財部 担当部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。常任幹事会議長を務めさせて戴き、執行役員会・常任幹事会・各委員会活動等への参画により、改めまして校友会活動における会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。また、常任幹事の皆様にはご多忙の折り、日頃より常任幹事会での熱心なご討議を戴き、重ねて御礼申し上げます。

ご存知のように校友会は、本部及び支部選出幹事・卒業生評議員候補者幹事・学内選出幹事より構成される幹事会が基盤となり、常任幹事(定数71名)が選出され、校友会活動の目的である「会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に、母校の研究事業を援助し、母校の発展に寄与する」ため、会員各位のご協力を戴き、種々の事業を推進しています。これら事業推進のために、限られた時間の中ではありますが、各委員会からの審議事案に基づき迅速な議事運営を念頭に努めて参りました。またこの3年間、議事進行におきましては文倉副議長、釜井副議長お二人の協力を戴きますと共に、常任幹事の皆様からの建設的なご意見を戴きつつ、議事進行が出来ましたこと心より感謝申し上げます。

今年度は役員・役職者の改選となり、引き継ぎを円滑に行いますと共に、更なる校友会の活性化と発展へ向けたスタートの年度とすべく、皆様におかれましても校友会活動への積極的な関与を戴き、発展する母校芝浦工業大学の社会的基盤強化に、ご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学
理事長
五十嵐 久也

芝浦工業大学校友会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度は校友会全国総会の開催、誠にありがとうございます。

母校芝浦工業大学も今年は創立90周年の節目の年であります。90周年記念事業として全学を挙げて取り組んだ建築学部開設、附属中学高等学校の豊洲移転も、教職員、OBの皆様、関係者一同様のご尽力により当初の目論見通り素晴らしいスタートをきる事が出来ました。

特に、4月11日の帝国ホテルに於ける建築学部開設記念式典においてはSGU（スーパーグローバル大学）の名に恥じぬ国際性に溢れた華やかな式となりましたことをご報告せねばなりません。この式では建築学部開設を記念し、4名の方々に本学の名誉博士号を授与させていただきました。日本の建設業界を永年リードされ、また建築文化に多大な貢献をされた建築家鹿島昭一様、本学が20年来国際交流を実施してきた海外提携校のモスクワ建築大学学長、イタリアのラクイラ大学学長、またパリのベルヴィル建築大学学長であります。

関係各国からは大使閣下をはじめとする駐日大使館の皆様もご列席いただきました。国内の大学からは東京大学、東京芸術大学をはじめ提携大学の多くの皆様にご列席いただき、建築家隈研吾氏の特別記念講演会など、参加した建築学部新1期生275名の記憶に残るものになったと思います。本学の今現在の勢いを象徴するかのような式典であったと考えます。当日の様子は本学のホームページでも詳しくご紹介しておりますので、是非ご覧いただければと存じます。

本学では次の100周年に向けた大学の発展型を明確にイメージし、この10年を展開しなければなりません。それは、一つはSGU事業の完遂であります。このことは社会、世間に対する約束であり、この厳しい目標を達成させることこそが本学を次代のステージに導く唯一の手段であると決心して取り組んでいます。もう一つは豊洲第2校舎計画の確実な推進であります。昨年、理事会、評議員会で建設を決定いただいておりますので早期に着実に計画を進めなければなりません。

村上雅人学長は100周年時の目標としてアジア工科系大学トップ10入りを掲げ教育研究改革に取り組まれています。昨年本学は開学以来初めて世界大学ランキングトップ1000(800番台)にランクインしました。1000大学というと多く感じられると思いますが、これは世界の大学のトップ2%だそうです。

これからの大学発展には教職員はもとより卒業生のご協力がたいへん重要であります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

むすびに、校友会の皆様、ご家族の皆様のご健康を祈念申し上げます。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
村 上 雅 人

世界大学ランキング

芝浦工業大学は、2027年の創立100周年にアジア工科系大学のトップ10に入ることを目標に掲げています。世界大学ランキングについては、賛否両論ありますが、海外の大学が提携先を決めるときや、海外の学生が留学先を決める際の指標としていることも事実です。

われわれの考えは、ランキング入りそのものを目的とするのではなく、大学が進めている世界水準の理工学教育を目指す改革や、研究力向上およびブランド力アップの結果として、アジアのトップ10の仲間入りをするというものです。

実は、10年前に世界大学ランキングの話題を大学で出した時には、多くの方から冗談かと相手にされませんでした。一方、多くの留学生からは、なぜ本学がランクインできないのかとお叱りを受けました。自分が学位をとった大学が世界で認められることは卒業生にとっては重要なことなのです。

幸い、本学は昨年度のTHE (Times Higher Education) において、初のランクインを果たしました。この大学格付け機関は世界で最も権威あるとされているもので、世界の980大学を選定しました。

数として980校は多いように感じるかもしれませんが、世界のすべての大学のトップ5%に入ります。日本からは69校がランク入りし、本学は日本では39位グループ、世界では801+という順位でした。まだまだ下位ではありますが、本学の実力からすれば、さらに上位を目指すことが可能です。

この世界大学ランキングは、日本に不利と言われています。それは、日本の大学の国際性が遅れているためです。日本の大学は、日本人の高校生を入学対象とし、長く日本語のみで教育をしてきました。それで十分だったのです。しかし、今や高等教育もグローバル化の時代です。世界の大学ではボーダーレス化が進み、よりよい教育を求めて学生も移動します。

幸い、本学は2014年にスーパーグローバル大学に、日本の私立理工系大学で唯一採択され、積極的にグローバル化を推進しています。昨年は、1000名を超える学生が海外経験をしました。芝浦工業大学は、100周年に向けて、常に前進していきます。今後も、校友の皆様の変わらぬご支援をお願いして、学長の挨拶と致します。

芝浦工業大学 建築学部 開設

2017年4月、「工学部建築学科」「工学部建築工学科」「デザイン工学部デザイン工学科（建築・空間デザイン領域）」の2学科1領域を統合・再編し「建築学部建築学科」を開設しました。4月11日にはこれを記念し、帝国ホテルにて式典が挙行され、建築学部の学生や来賓、教職員など合計約500名が参加しました。

記念講演

「建築の力」と題した建築家 隈研吾氏の記念講演が行われました。いくつかの作品例から、建築はひとりでは作れない、仲間や行政、地域住民などいろんな人とコミュニケーションをとり信頼関係を持続させることが大事だというメッセージを送りました。



建築家・東京大学教授 隈研吾氏

祝辞



財団法人国土技術研究センター理事長・元国土交通事務次官・芝浦工業大学専門職大学院客員教授 谷口博昭氏



国土交通大臣官房審議官 伊藤 明子氏



名誉博士号授与・スピーチ

共にグローバルな建築教育を展開している海外協定校の学長、建築家としての顕著な功績と建築出版事業・美術芸術活動などの社会文化活動に尽力された鹿島建設株式会社 取締役相談役 鹿島 昭一氏（当日ご欠席）に名誉博士号が授与されました。



Dmitriy Olegovich Shvidkovskiy 氏
（ロシア・モスクワ建築大学 学長）



François Brouat 氏
（フランス・ベルヴィル建築大学 学長）



Paola Inverardi 氏
（イタリア・ラクイラ大学 学長）

建築学部紹介



堀越英嗣建築学部長による学部紹介

パネルディスカッション

～今 建築を学ぶ学生に求めるもの～
現在建築家として第一線で活躍する3人の客員教授によるパネルディスカッションが行われました。



パネリスト：
客員教授 押野見 邦英（K/O design studio 主宰）
客員教授 長谷川 逸子（長谷川逸子・建築計画工房 主宰）
客員教授 櫻井 潔（櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS 主宰）
コーディネーター：堀越 英嗣（建築学部長）

建築学部開設にともない、豊洲キャンパスに製図室棟を建設しました。1年生から4年間で豊洲キャンパスで過ごす建築学部生の能動的な学びの支援を目的としています。



【施設データ】
名称：製図室棟 [アーキテクチャープラザ]
床面積：1階 623.59㎡
構造：鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造
階数：平屋建て
設計監理者：株式会社日建設計
施工者：鹿島建設株式会社 横浜支店

shiba-Jo

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

●女子学生就職セミナーに参加

2017年2月13日、就職活動をひかえた女子学生を対象にした「女子学生就職セミナー」に Shiba-jo プラチナネットワークより3名のOGが登壇しました。

セミナーの前段では、芝浦工業大学キャリアサポート課より、就活マナーや企業選びのポイント、面接対策などの説明があり、後半の「自分のキャリアプランを考えてみよう！」のコーナーで、Shiba-joメンバーがOGとしてのモデルケースを紹介。

「ライフキャリアレインボー」というワークシートをもとに、現在の生活における「学ぶ人」「余暇を楽しむ人」「働く人」「配偶者」「家庭人」「親」として過ごす割合がどのくらいかを、それぞれの立場をもとに学生にお話しました。

当日は24名の学生が参加し、それぞれが「女性にとって働きやすい職場」の定義や、自分自身のキャリアに対する価値観を見つめ直すきっかけとなりました。



【登壇者】

- ・小宮山 由起江（1990年土木工学科卒）
清水建設株式会社 土木技術本部 基盤技術部
- ・畠山 佳代（2005年環境システム学科卒）
芝浦工業大学 経理課
- ・川野 亜希（2011年応用化学科卒）
芝浦工業大学 豊洲学生課

●2016年度 第2回懇親会開催

Shiba-jo プラチナネットワークでは、メンバー同士のつながりをつくり、深めていく機会として、メンバー懇親会を開催しています。最近では、2月13日の女子学生就職セミナー終了後に、第2回目の懇親会を行いました。教員、技術開発、経営者、事務職、主婦などさまざまな立場の卒業生・教職員計13名が参加しました。

互いの仕事や育児などの近況報告のほか、Shiba-jo プラチナネットワークがどのように活動を発展させていけるかについても話し合うなど、大変有意義な時間となりました。

今後も懇親会を重ねていきますので、興味のある方はぜひご参加ください。



丸の内ディンドン有楽町ビル店にて

●学生団体 FM 放送技術研究会主催

女性卒業生ロールモデルインタビューへの参加

芝浦工業大学文化会 FM 放送技術研究会（部員 60 人うち女子 14 人）では、まだまだロールモデルの少ない理工系女子学生のための情報発信の取り組みとして、さまざまな立場で活躍する女性卒業生をインタビューし、その内容を記事化し発信する活動を行っています。このインタビュー対象者を Shiba-jo プラチナネットワークから紹介しています。

本取り組みは、女子学生だけでなく、男子学生にも女性特有のキャリアへの理解や男女参画社会への理解を深めるきっかけとなっていると好評です。



- ・宮田 純子（2007 年電子工学科卒業）
芝浦工業大学工学部通信工学科助教
- ・高木 志織（2013 年電気電子情報工学専攻修了）
富士通株式会社

Web サイトでもインタビュー内容を公開中です！

http://www.shibaura-it.ac.jp/about/gender-equality/action_03/04080508.html

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。

異業種 / 同業者交流としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

Shiba-jo プラチナネットワーク会員構成

種 別	卒業生 教員	卒業生 職員	卒業生	学部生	大学院生	教 員	職 員	計
人数	1	4	55	23	5	17	12	117

2017.3.1 現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局

TEL : 048 (720) 6440

E-mail : desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

実学サロン

～ 変革の時代の経営を考える～

ネットワークを強化し、ビジネスで成功する

毎回、実学サロンの講師は、芝浦工業大学の校友です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の経験などの実学を聞くことは、有意義なことです。仕事に役立つ魅力的な研究開発活動、エンジニアリングやマネージメントを学ぶには、その道で体得された方に聞くのが一番です。

実学サロンの目的の一つにネットワーキング（人脈づくり）があります。卒業後、多くの校友がエンジニアとして活躍され、やがてマネージャとなります。変革の時代のマネージャに求められているのは、異業種交流を通して多様な発想をもつ必要があります。日本の場合、多くの技術者が組織内に留まって、企業内の交流に終始する傾向にあり、異業種との交流がおろそかになっています。校友会では、校友の先輩、後輩が業種を越えて情報交換ができる場として「実学サロン」を企画し、運営しています。

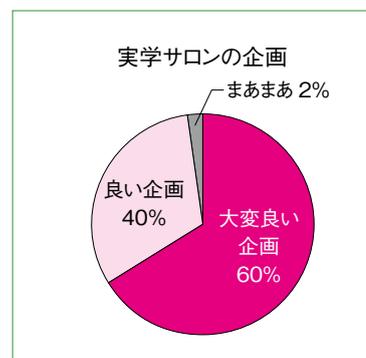


図1 アンケート集計結果(18回～21回)



大学では金属工学を学び、卒業してすぐ刀鍛冶の世界に飛び込む、渡邊繁平氏は刀鍛冶の技術論を展開してくれた。(18回)

技術、経営、研究など、多種多彩な校友の交流の場



林田和雄副会長

実学サロンは5年目となりました。社会に出て実績を重ね、活躍している校友から実学を学ぼうという企画は、会員に定着致しました。会報をお届けする6月までには、23回の開催が行われる予定です。校友会の重要でかつ主要なイベントとして、会員の交流の場の提供をしてきました。

これからの課題は、有意義な交流の場に校友がさらに多く参加してくれることです。今後の更なる校友の飛躍や活躍には、その道で体得された方からの情報をヒントにするのが一番です。「今後も続けて欲しい」「大変すばらしい企画だ」との参加者の要望とともに、「このような実学サロンを継続的に実行されている事に、敬意を表します」とのご評価も頂いています。校友の皆様のご更なるご支援、よろしくお願いいたします。

副会長・総務広報委員長 林田 和雄

イノベーションにつながる異質との出会い

2012年7月に第1回を開催し、2017年5月末の時点で23回の実学サロンを既に開催しました。毎回平均して約30名の参加者がありました。

「実学サロンの企画」に対する5段階評価のアンケート結果(第18回～21回)は上位の「大変良い企画(67%)」と「良い企画(31%)」の2段階98%(図1参照)に集中しています。この結果を見ると、企画に対する参加者の満足度が高いことが分かりました。

実学サロンを通じて、校友が定期的に母校に集まることができることや、校友の活躍の実例にふれることや、交流を通じて「異質との出会い」が実現できて、実学サロン開催の意義が、校友の皆様に理解されています。

アンケートのコメントには「技術について、最新の知見を得られた」「最新技術の活用について知ることができた」「温故知新の実学」「他分野の勉強ができました」「幅広い知識で、内容も濃い」という学びに関することや、「学生にとっても、人生の哲学を語っていただける場として素晴らしい」などの意見がでています。

講演終了後は、7階の校友倶楽部で懇親会を開催しています。講師との懇談や、校友同志での名刺交換など、先輩と後輩間での異業種交流が盛んに行われています。色々なイノベティブな発想には、社内などの同質なお付き合いだけでは生まれてきません。懇親会が新しい出会いの場となっています。参加ください。

リピーターを増やすため、昨年度から「実学サロン案内サービス」を始めました。希望される校友は、事務局までメールにて、ご連絡ください。登録をして頂きますと、開催案内をメールにてお送り致します。

参加者、100名を目指します。ご支援ください。

実学サロン開催案内メールサービス

実学サロンの案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名と学科・卒業年次を校友会事務局まで、下記メールアドレスに、ご連絡ください。

E-mail:sitfriends@shibaura-koyu.jp



刀鍛冶の話聞き、日本刀を持ち真剣な眼差しの参加者。(18回)



冒頭、朴栄光(イーピーエム代表取締役)(左)を紹介する林田和夫総務広報委員長・副会長(右)。(19回)

実学サロンのホームページでの案内

案内は、校友会のホームページをご覧ください。
<http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html>

表1 実学サロンの開催一覧(第18回～21回)

回数	テーマ	講師	所属	卒業
第18回 2016.3.18	日本の工業技術の礎である鍛冶職について	渡邊 繁美	繁平鍛刀場 渡邊繁平(刀銘)	1965年 金属工学科
第19回 2016.5.13	心臓外科手術訓練用シミュレーターの開発 — 良い人との出会いについて —	朴 栄光	イーピーエム(株) 代表取締役社長	2004年 システム工学科 機械制御システム学科
第20回 2016.9.16	地図と測量 — 建設分野の情報化・高度化を実現する空間情報技術 —	中川 雅史	芝浦工業大学工学部土木科 准教授 博士(環境学)	1991年 工学部二部 工学部土木工学科
第21回 2016.12.9	技術者が学ぶ経済学、商学、経営学 — ものづくりの実学に原価の把握がある —	谷口 守哉	(株)原田伸銅所仙台工場副工場長 商学博士、政策研究博士	2002年 大学院工学研究 科部修了

実学サロン：第18回

2016年3月18日芝浦キャンパス内

日本の工業技術の礎である
鍛冶職について講師 わたなべ しげよし
渡邊 繁美繁平鍛刀場渡邊繁平(刀銘)
昭和40年金属工学科卒業

今回の講師の渡邊繁平氏は、芝浦工業大学の金属工学科を卒業して50年、日本刀づくりに取り組んできた刀匠です。小学生の時に日本刀見て刀鍛冶に興味をもたれたそうです。砂鉄から刀ができることを知り、砂鉄から鉄を造ろうと思って取り組んでも鉄ができなかったことで、芝浦工業大学で金属のことを学んだそうです。大学卒業後直ぐに人間国宝の宮入昭平刀匠の弟子となり刀鍛冶職人となって50年「職人の技から工学への繋がり」「日本刀づくりの科学」など、経験を踏まえた貴重なお話を伺うことができました。

小学生の時に刀鍛冶になりたいと思う

私が小学校5年生のとき、祖父に日本刀を見せられ、私は刀鍛冶になりたいと思いました。その時、祖父が「日本刀は、砂鉄から作られている」と教えてくれました。そこで、囲炉裏に真っ赤に炭をおこし、砂鉄を振りかけましたが、鉄は出来ませんでした。私は高校生の時、芝浦工業大学に金属工学科がある事を知り、鉄の勉強をしたいと思い、芝浦工業大学の金属工学科に入学しました。私が大学3年の時、宮入昭平刀匠が人間国宝になった記事を見ました。その時、刀鍛冶になろうと思い、長野県坂城町の宮入昭平刀匠の所に行き「私を弟子にしてください」頼んだところ、「大学を卒業してから来い」と宮入昭平刀匠は入門を快諾してくれました。昭和40年4月、宮入昭平刀匠の弟子になり、昭和48年5月現在の所に仕事場を作り、現在に至っています。

宮入昭平刀匠は、「日本刀は科学である」と常日頃言っていました。世界で鉄作りが始まったのは、チグリス、ユウフラテスの上流の付近で、今から5千年前頃と言われています。日本に鉄が入って来たのは、弥生時代です。その後、幾多の技術革新があり、武士集団が台頭し、世界に類を見ない日本独特の日本刀ができたのは平安時代です。日本刀には実用を追い求め、無駄を無くした事による美しさ、鉄作りの科学、懸垂線の形の力学、使う部分だけを堅くする焼入れ操作等があります。富士山の稜線や、神社の屋根の曲線、本四連絡橋の吊り橋の支線。これらは懸垂線で出来ている力学です。日本刀を作るための科学的知識は、日本の近代工業化の基礎知識になっていると、私は思っています。日本刀の材料になる鉄は、花崗岩を母岩とする不純物の少ない砂鉄を用いて「たたら」という炉で作られている鉄を「玉鋼」と呼ぶようになりました。現在でも、文化庁の後援で島根県で「たたら」製鉄をやっています。

(1) 砂鉄を集め、自分炉で鋼をつくる

日本刀の製造工程には「たたら」で作られた玉鋼を使用しますが、私は花崗岩で出来ている近くの越後山脈の登川の上流の砂防ダムので、磁石で砂鉄を集め小さな炉を作り自分で鋼を作っています。10キロの砂鉄から約3キロ位の鋼が出来ます。私の小さい炉や「たたら」製鉄では、溶鉱炉のような高温での操作はできませんので、完全に溶けた鉄ではなく、スポンジ状の鉄になります。

(2) スポンジ状の鉄を折り返し叩いて鍛錬

先ずこのスポンジ状の鉄を緊密にするために、折り返して鍛錬をします。折り返し鍛錬は、スポンジ状の鉄を長く延ばして、真ん中に鑿で切り込みを入れますが、完全に切り落とさず少し残して、図1のように折り返して、上下に重ね合わせます。

折り返し鍛錬の切り込みは、スポンジ状の鉄塊に、藁灰を全体にまぶして火床(炭を燃やす所)に入れ、鉄塊の上を炭で覆います。ふいごで風を火床の中に吹き込むと1,250℃位になります。このとき、鉄塊の酸化皮膜 $2FeO$ と藁灰の中の SiO_2 が化合して、 Fe_2SiO_4 となり、融点が1,205℃のカンラン石になり



日本刀の製造工程を講演してくれた渡邊氏

先半分の鉄塊

元半分の鉄塊

図1 折り返して上下に重ねる

ます。鉄塊は酸化皮膜が無くなり、 Fe_2SiO_4 が溶けた状態で鉄塊を覆っています。その鉄塊を炭火の中から出して鉄床の上に置き、8キロの大鎚で叩くと上下の鉄塊が近づき金属結合で一体になります。この折り返し鍛錬を15回やると、折り返した層が32,768枚になり、大変緊密な鉄塊になります。折り返し鍛錬は、空気中の作業になりますので、鉄塊の炭素分は、空気中の酸素と化合して減少します。そこで折り返し鍛錬の回数は、鉄塊の炭素量が0.6%位で止めます。折り返し鍛錬の回数は、刀鍛冶の判断になります。折り返し鍛錬では、皮鉄にする炭素量が0.6%位、心鉄に使用するために炭素分が0.2～0.3%位の鉄塊の2種類の鉄塊を作ります。



製鉄したスポンジ状の鉄を持つ講師

(3) 造込み・火造り

図2のように、炭素量の少ない心鉄を、炭素量の多い鉄塊で包むようにして、鉄塊を1,200℃位に加熱して、金属結合で一体化します。この作業を造込みといいます。造込みで、心鉄と皮鉄を合わせた後は、叩いて延ばし、ある程度伸びたところで、手鎚で刀の形にします。この作業を火造りといいます。



図2 刀身に焼き刃土を塗る

(4) 焼き刃土で波紋を作る

刀の形にしたら図3のように焼き刃土を塗ります。焼き刃土は、粘土1：細かい砂1：炭の粉1の割合です。刀身に焼刃土を塗ったら、刀身を750℃～800℃位に加熱します。常温の鉄は、体心立方格子の結晶構造をしていますが、750℃～800℃の温度では、面心立方格子の構造になります。加熱した後、刀身を水中に入れます。



図3 刀身に焼き刃土を塗る

刀身を水中に入れ、急冷すると750℃～800℃のとき体心立方晶の隙間に炭素原子を取り入れたままで、常温まで冷やされて面心立方晶になりますが、面心立方晶の隙間には、炭素原子が挟まったままです。面心立方晶は歪んでおり、面心立方晶の運動が妨げられ硬くなります。

鉄は、温度の変化によって、結晶構造が替わる唯一の金属です。焼入れの作業の中で、鉄の変化を刀鍛冶達は、経験から理解しています。焼き刃土を厚く塗ったところは、冷却が妨げられ焼きが入らずに柔らかいですが、焼き刃土を薄く塗ったところは、焼きが入り硬くなります。刃紋は、各刀匠の得意とするところです。

(5) 懸垂線に基づく日本刀の形

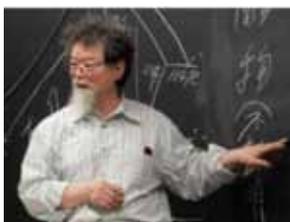
焼きを入れた刀は、多少曲がりがありますので、直します。反りは、時代的な要求による形や長さにし、懸垂線の形で整えます。富士山の稜線は、3,700mの頂上を支えるためのカーブです。吊橋や神社仏閣の屋根のカーブ、そしてお城の石垣も懸垂線を利用しています。これは地球の重量に対して、最も安定したカーブです。

古墳時代の真っすぐな直刀に比べ、反りのある刀は使い易さのみならず、使用上引き切りになりますので、刃先の角度が鋭くなり機能的には断然優れています。刃物の刃先は、小さな半円になっています。刃物の刃先の鋭さを表すとき、曲率半径で言い表します。曲率半径が小さいと、刃物の刃先は鋭くなります。カミソリの曲率半径は0.3μですが、刀の刃先は3μです。刀を使用する時は、引くように使いますので、3μの刃先はもっと鋭くなります。ちなみに人間の頭髪は、70μだそうです。

(6) 彫り物には、仏教的なものが多い

刀の表面には、彫り物がありますが、刀が人を殺傷する道具である事から、仏教的な彫り物が多いですが、江戸時代になると装飾的な彫り物が増えていきます。我々刀鍛冶が、現代、刀を作れるのは、日本の工業技術の礎としてその技術の保存を目的としています。文化庁の管轄で法的管理がなされています。明治天皇が、20年毎に行われる伊勢神宮の御遷宮祭に刀を奉納する事から、技術の保存を目的として、帝室技芸員制度をつくりました。

第二次世界大戦後、進駐軍のマッカーサー元帥は、日本刀の製作、保持の禁止令を出しましたが、昭和28年伊勢神宮の御遷宮祭があることから、昭和26年、刀の製作が許可されました。帝室技芸員の制度、現在では、重要無形文化財保持者（人間国宝）になっています。



講師の渡邊繁美氏

【講師略歴】

渡邊 繁美（わたなべ しげよし）氏
 1965年3月芝浦工業大学金属工学科卒業、
 1965年4月宮入昭平鍛刀入門、
 1971年2月日本刀の製作者として、文化庁長官今日出海より許可される。
 1973年5月繁平鍛刀場開設、現在に至る。

実学サロン：第20回

2016年9月16日 芝浦キャンパス内

地図と測量

— 建設分野の情報化・高度化を実現する空間情報技術 —

なか がわ まさ ふみ
講師 中川 雅史芝浦工業大学工学部土木工学科准教授 博士（環境学）
平成12年工学部土木工学科卒業

今回の実学サロンの講師の中川雅史氏は、測量技術分野の研究者であり、国内外の学術団体だけでなく、国内外の官公庁の意志決定支援にも貢献している一人です。測量分野の最新技術は、土木工学のみならず、建築工学や都市工学、通信工学、機械工学、考古学など、幅広く関連するものです。

災害調査や環境調査、文化財調査、土木構造物の施工支援などにドローンが利用され始めています。講義では、ダムや橋梁、地すべり、文化財などの調査事例や、実際につかわれているドローン測量システムやドローン利用にあたっての安全対策もお聞きしました。

ドローンの絵を描いてみよう

「間違ってもよいので、Web検索画像を見ずに、ドローンの絵を2分以内で手描きしてください」というお題のワークを講義前にやりました。結果としては、プロペラが4つ付いているヘリコプタ（マルチコプタと呼ばれる型の1つ。図2）を描く人が大半でした。実際は、ドローンにはマルチコプタ以外にも、固定翼や垂直離着陸型など、様々な形があります。

また「テレビや雑誌、Web記事で見たことがある人」「飛んでいるものを見たことがない人」「手に取って見たことがある人」「操縦したことがある人」の順番で激減していくことを参加者の挙手によって可視化しました。

これらのワークによって「ドローンは知っているが、ドローンとはどういうものかほとんど知らない」という認識を受講者に改めて持ってもらう、本講義で扱うドローンについて勉強する理由づけとしました。

ドローンを使えば臨場感のある映像を取れたり、危険な場所を安全に観測できたりできます。ドローンを使えば三次元地図もつくれるのですが、どのようにつくるのでしょうか？

立体視をしてみよう

ドローンを使って三次元地図をつくる方法には、写真測量とレーザー測量があります。本講義では立体視の演習を通して、写真測量について勉強しました。立体視とは左目用と右目用の画像を準備して立体的な視覚を得ることであり、3Dディスプレイでも応用されています。立体視で得られる立体感は脳内で再現されるものですが、これを数学的に解析することで計測対象の三次元座標値を取得できます。この方法にもとづいて地図をつくることを写真測量といいます(図3)。

写真測量では、内部パラメータ（カメラの焦点距離やレンズ歪み）と外部パラメータ（カメラの位置や回転）を推定した後、2枚の画像に写っている任意の点をポインティングすることで、その三次元座標値を前方交会法という方法で取得します。この点を連続的につなげていけば図形を描けますし、大量に取得すれば点群（てんぐん）データ（点の集まりで三次元空間を再現するデータ）を生成できます。ドローンを使って空撮した連続画像に対して、このような処理を適用することで、三次元地図をつくることができます。

ところで、家電量販店やネット通販で販売しているホビー用ドローンは測量に使えるのでしょうか？



図1 中川氏は、新しい測量の方法を分かりやすく解説してくれた



図2 マルチコプタ
(md4-1000, Microdrones)

ドローン測量システム

ホビー用ドローンには数万円から10万円程度のものが多く、ネット通販でも購入できます。一方で、ドローン測量システムは数百万円から数千万円程度のシステムです。ドローン測量システムと、ホビー用ドローンの違いは、積載可能重量だけでなく、連続運用性や環境耐久性、安全性などが格段に高い点です。

ドローン測量システムには、まず三次元データを取得するためのカメラやレーザースキャナを搭載します。しかし、カメラやレーザースキャナだけでは、三次元データ取得には十分ではなく、カメラやレーザースキャナの位置や姿勢データを取得するための、GPS受信機・アンテナや加速度センサ、角加速度センサ、気圧センサ、磁気方位センサを搭載します。また、より安全に運用するためにフェイルセーフ（システムに誤操作・誤動作による障害が発生した場合でも安全に制御すること）の機能を追加します。

したがって、ドローンにカメラをつければ、すぐに高精度な測量ができるわけではありません。最近のホビー用ドローンにもほぼ同様のセンサは搭載されていますが、各センサの性能や精度が格段に高い点も、ドローン測量システムとホビー用ドローンの違いとして挙げられます。

ドローン測量システムは、実際の測量・土木の現場では、どのように使われているのでしょうか？

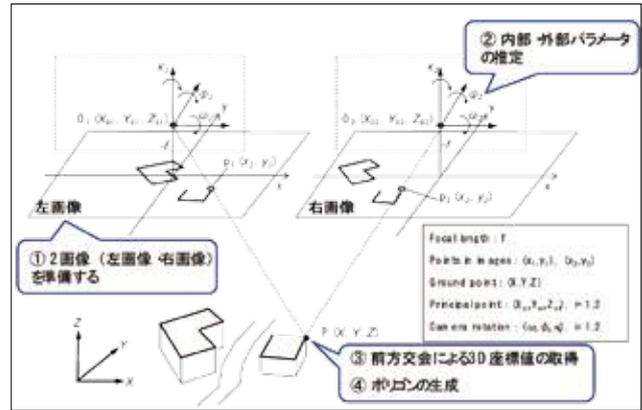


図3 写真測量の原理図



図4 ドローン測量システムで生成した点群データ

測量・土木の現場ではドローンをどう使うの？

ドローンは低空を飛行するため、衛星観測や航空機観測よりも高分解能なデータを低コストかつ迅速に取得できるため、測量・土木分野で着目されています。ドローン測量システムは、地図作成・災害観測や環境計測、構造物計測、文化財計測などで、国内外問わず、広く利用されています。文化財やダム、河川、土砂災害、火山噴火など、人の立ち入りがない場所や、人の立ち入りができない場所での計測事例が特に多いです（図4）。GPS測位環境が劣悪な場所（橋梁下やトンネル内など）や障害物が多い計測環境では、飛行制御に関する技術的課題が残っているため、研究会などで多くの議論がされています。

現在、測量・土木の現場では、2015年12月に施行された改正航空法にもとづき、ドローンを運用しています。さらに、日本写真測量学会で「測量調査に供する小型無人航空機を安全に運航するための手引」を公開しており、測量・土木分野では飛行以外にも定期点検や飛行時間管理なども含めて、未然に事故を防ぐ努力をしています。

書籍紹介：『絵でわかる地図と測量』

本講義の内容は、この書籍の中の「写真測量」の内容の一部を抜粋しています。原理・原則から最新技術まで、地図の材料集めから編集までを豊富なカラー図版で解説していますので、詳しくは書籍（図5）をご覧ください。



講師の中川雅史氏

【講師略歴】

中川 雅史（なかがわ まさふみ）氏
2000年芝浦工大土木工学科卒業、2005年：東京大学新領域創成科学研究科卒業（博士（環境学））、同年（独）産業技術総合研究所知能システム研究部門研究員、2009年芝浦工業大学土木工学科准教授。
【表彰】日本写真測量学会・学会奨励賞（2011）、芝浦工業大学・宮地杭一記念賞（2012）、応用測量・論文奨励賞（2013）、測量・地理空間情報技術奨励賞（2014）



図5 『絵でわかる地図と測量』中川 雅史著、講談社

実学サロン：第21回

技術者が学ぶ経済学、商学、経営学

－ ものづくりの実学に原価の把握がある －

講師 ^{たにぐち} ^{もりや} 谷口 守哉

(株)原田伸銅所仙台工場副工場長商学博士、政策研究博士
 平成10年二部機械工学科卒業、平成14年大学院工学研究科部修了
 平成18年大学院工学マネジメント研究科修了

今回の実学サロンの講師の谷口守哉氏は、前職ではJFEのスチール部長として活躍し、現在は(株)原田伸銅所の新用途開発部部長として、新規事業の創生に取り組んでいます。JEF在職中に技術と商学を学び、商学博士と政策研究博士を持つとともに、本学で技術と技術経営(MOT)を学んでいます。

谷口氏、本学の創設者である有元史郎先生にも通じるような、文系、理系を問わず多彩な学歴を持っています。現在は、原田伸銅所で新製品の開発を指導する傍ら、アビダス、大原簿記、福島高等専門学校、高千穂大学などで教壇に立って、後進する若手の人財育成に取り組んでいます。まさに文理融合を実践している谷口守哉氏に、実学を語って欲しいと考え企画しました。

日本国内で小規模でも起業するのは今だ

現状、日本では起業が上手くいかないケースが数多く見られるようになってきた。多くの大学では、花形学部には事業化構想(起業)を謳う大学も増加している一方で、現実的には起業人口(企業立上)が減り、30年前の学生の大企業サラリーマン化志向に戻りつつある。

日本の技術が世界を凌駕しているにも関わらず、起業を志向しないのはなぜなのか、自信がないのか或いは周囲の環境がそれを許さないのか、その事由を見つけだそうではないか。

一つには昨今の巨大企業の不祥事問題がある。

二つ目は世界の潮流として日本バッシングが再度始まったように思われる点である。

ただ今は、このような事象を考えず、日本国内で小規模であっても起業し、成功するための方策を検討していこうではないか。

起業するのはいつですか？今でしょ。

ここで企業に必要な、或いは気をつけるべき内容を記載しておく。絶対に一助となる。日本の技術者が陥りやすいイノベーション経営を阻む3つの関門をここで再度紹介したい。



図1 文理融合(技術経営)を実践してきた講師の谷口氏。

魔(マ)の川、死(シ)の谷、ダーウィンの海という3つの難所

技術屋(エンジニア)は、とすれば自身の技術を最高最善のものと思い込み、技術開発に対してイケイケドンドン(行け行けドンドン行け太鼓の3拍子)、段階から段階へと進むことに無頓着であるため、魔(マ)の川、死(シ)の谷、ダーウィンの海という難所が待ち構えていることさえ解っていない。MOT(技術経営)的思考の欠如である。

最初の魔の川(Devil River)は、製品化にあまりにも無知であるがゆえに、次なる研究開発へと進めない(Research Study ⇒ Development Study)、基礎研究止まりとなり開発研究へと進めないというお粗末なものである。

第二の死の谷(Valley of Death)は、経営そのものを理解できていないために、需要と供給とを繋ぐコストが全く上の空で描かれた研究開発計画書ゆえ、開発段階研究 ⇒ 事業化段階研究への突破口が一向に見えてこないものである。あがき悶え苦しむといった具合である。他人は、計画策定者が何を悩み苦しんでいるのかさえ判らない。

エンジニアが最も陥りやすい成り行き任せとなる。大きな負の遺産を産み研究開発から陥落していく。多

くの方はその光景を「研究バカ」、「モノ知り博士」と揶揄する。

第三のダーウィンの海（Darwinian Sea）は、資力に任せ無理に上市したが、競争、市場原理主義の荒波に揉まれているうちに、市場から残るも消えるも自身の努力、泳ぎきる力であることを知っておりながら販売に力を注ぐ努力を忘れて、そのうちに起業が自然に、そして時代が淘汰するものと勘違いし努力を忘れ諦観し、なりゆきまかせとなる経営者。

上記の3つの関門に落ち込む割合が、日本では78～80%（魔の川20%弱死の谷65%、ダーウィンの海15%強）という結果であり、5人中4人が失敗に陥るといふ。

日本人の起業家のほとんどが、コストを正確に理解できていないで、安易に起業しようとする、したがって失敗する。当然である。

コスト計算のできない起業家が成功する訳が無い。



図2 コストの話になると嫌がる経営者が多いと語る

知識、認識、意識という「コスト3識」がコストを理解するには必要

コスト或いは資金、企業ファイナンス関係のことを話し始めると、嫌がる経営者が多いことに本当に驚く。特に話が、経営上の最重要課題である収益、コストなど佳境に入るとよく判らない、或いは本当の利益（嘘隠しだてのない利益数字は決して嘘はつかない）に話がいくと下を向く経営者層が多い。

本来的には、赤字ゆえスピード感を持って変化しなければならないにも関わらず、何をすべきかが判っていないからだろう。しかし、どこの部分が赤字の原因となっているかについて、殆ど何も理解できていない。経理関係者が説明をし始めても、言っている内容の半分も理解できていない経営者。自社製品に対するコストを知らない経営者層。実に大きな、問題である。

下記に売上とコストとの関係を説明する。利益を生み出す構造は下記利益を理解しなければ判らない。売上一仕入＝**売上総利益**（粗利アラリ）。営業継続に必要な一経費＝**営業利益**、更に営業に関係しない収益を加減＝**経常利益**となる。加えて一時的な損失や利益（特別利益・損失）を加減＝**税引前利益**。最後に税金＝**当期純利益**となる。

経営者は、利益の原資くらいは、知っておかなければ務まらない。従業員に知られると困るのではなく従業員にも熟知してもらった方が、従業員の労働モチベーションもずっと上がる。

知識、認識、意識という「コスト3識」がコストを理解するには必要

私は、コストを理解するためにはコスト3識が必要と常時聴衆に言い続けている。先ず**知識**（学習からしか得られぬモノ）、次に**認識**（モノづくりを通してしか得られないモノ）、そして従業員として持たねばならない**意識**（こうすれば利益を必ず生む、こうすると損失が出る）である。最後に重ねて申し上げたい。損得を口に出すことを技術者は、ともすれば汚いモノに触れるかの如く嫌がる人が多い。これでは起業は無理である。

先ず、コストを意識し利益を出す事が起業の成功に繋がると考えていただきたい。真の経営者は、実学を学ばなければならない。加えて、数字に強くなければダメである。



講師の谷口守哉氏

【講師略歴】

谷口 守哉（たにぐち もりや）氏

1974年関西学院経済学部卒業、76年一橋大学大学院商学研究科修了、

76年川崎製鉄(株)入社東京本社原料部金属課、78年早稲田大学社会科学部二部（化学）卒業、

80年専修大学経営学第二部卒業、84年明治大学工学部第二部電気工学科卒業、86年専修大学

大学院経営学部経営科修了、98年芝浦工業大学二部機械工学科卒業、2002年同大工学研究科（岡本史紀先生）修了、03年JFE鉄鋼本部プロジェクト技術部長、04年東亜大学（通信教育）法学専攻修了、06年芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科修了、10年千葉商科大学政策研究科修了。

2012年JFE物流常務取締役、13年サムスン物産本社、

15年(株)原田伸銅所仙台工場副工場長兼新用途開発プロジェクト（部長）

支部活動報告

北海道支部

支部長 井上 秀人 金属工学科 昭57年卒業

北海道支部は昭和41年に設立され、2年前に設立50周年を迎えました。

支部総会は毎年5月下旬の土曜日に開催しており、本学、校友会本部からのご来賓、後援会北海道支部役員の皆様にも参加を頂き、校友と合わせて、70名程度の参加者で行っています。

北海道はその広さゆえ、札幌以外に道内5地域（函館、旭川、帯広、釧根、北見）に地方分会があり、各分会も毎年2月か3月に分会総会を行っています。

さらに、卒業した学科をベースとして、5部会（機械、土木、建築、電通、理経）があり、部会単位でも新年会等で交流を図っています。

北海道支部は支部総会のみならず、地方分会、各部会でも校友間の交流・親睦を図り大学の発展に少しでも寄与したいと活動しています。

また、支部総会の案内を兼ねて発行している「北海道支部だより」は今年で38号となりました。

毎年、理事長、校友会会長には寄稿して頂いており、本学・校友会関係者の多大なるご協力、発行に携わった多くの先輩のご尽力の賜物と思っています。

卒業生の道内就職者が少なく、若手校友の発掘に苦労していますが、一昨年から校友会本部にも協力いただき、卒業10年以内の校友への勧誘を始めました。この活動は継続していきますので、道内在住の校友の情報（特に若手）をお持ちの校友は、事務局へご一報をお待ちしています。



岩手支部

支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

校友会の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

最近の岩手支部総会は本部総会の報告を兼ねて6月下旬に開催しております。

- ・今年度は平成28年6月25日（土）に盛岡市駅前のホテルルイズで校友会常任幹事の丸征史様、青森支部長の木村喜有様をお迎えいたしまして、支部会員11名の参加の中、和気藹々の開催となりました。
- ・年々参加者の高齢化が進み参加者も減少傾向にあるなかで、今年は1名の新会員の参加がございました。若い方の参加によりまして岩手支部も少し元気になって来るような気がしております。

- ・幹事会は総会前、年度末に開催（年に2、3回程度）
- ・支部行事としては年1回のゴルフ大会を9月17日に開催。
- ・台風10号による大雨災害による被災地（岩泉町）に出向き、支部会員4名でボランティア活動を行いました。東日本大震災の復興途中での大雨災害に何とも言えないものを感じました。
- ・岩手在住の卒業生の皆様で支部総会にご参加されたことのない方は是非一度参加をお願いします。芝浦での話題やら、なにやらで大いに盛り上がりましょう。お待ちしております。



宮城支部

副支部長 上野 真 土木工学科 昭和49年卒業

宮城支部の活動に際し、芝浦工業大学校友会の格別なご援助を賜り誠にありがとうございます。

一昨年（平成27年）は当支部も35周年を迎え、発起理念として、単科大学ゆえの同窓の誇りと親しみ、気軽に集い共に手を取合って発展しようとの元、支部活動も新春交流会、定時総会、ゴルフコンペ、ロボットセミナー、父母懇談会、平成会（若手の親睦会）、支部便り、東北六県支部長会等々行っています。

昨年（平成28年）は、東日本大震災5周年復興記念として現地探訪を10月1日～10月2日に行いました。

東北各支部の方も含め18名が参加され、宮城県の死者・不明者12,000人弱のなか最大被害地の東松島市、石巻市、女川町（計6,000人）を見て廻りました。野蒜防災集団移転、野蒜海岸、北上運河の防潮堤、奥松島宮戸地区、防災タウン、そして最大悲劇の大川小学校受

難等々を見学。被害の甚大さ、遺構を見、改めて胸が痛む思いと復興への力強さを感じ、参加者全員、被災地の明日を思い語り継ぎ、見守り続けねばと思ったことでしょう。ともあれ、支部交流の旅でもあるので、観光もおりませ、東松島市のディスカバリーセンターでの大地球儀で世界の気象を学び（過去から未来予測まで、地球を取り巻くデータ）、奥松島の日本三大溪の嵯峨溪を遊覧船で廻り、石巻市のサン・ファン館、女川町のまちなか交流館と体験。そして、津波で大被害を受けた民宿に泊まり、災害の話を聞きながらも、同窓一同大いに会話に歌に盛り上がりました。

最後に、支部の皆様のご参加でより活性化を目指すとともに、全国の支部の皆様、復興、観光等、宮城にご興味がある方は是非、当支部にご連絡下されれば幸いです。



女川町 復興市街地を一望する食事処



東松島市 科学地球儀Discovery Center（日本初展示）オーナーは芝浦工大同窓

山形支部

支部長 川越 進 事務局長 野々村 則夫

平成28年度支部総会を、2月25日（土）にホテルメトロポリタン山形にて開催しました。

お忙しい中、後援会・校友会より5名の来賓の方にお越し頂きました。支部会員は13名参加し、大学の現状をお聞きすると共にお互いの情報交換、懇親を深めました。

20年ぶりに参加した先輩もいて大変盛り上がりました。来年はさらに多くの会員の皆様から参加頂けるように活動していきたいと思えます。

なお、今年は、庄内地区での分会を開催します。庄内地区の皆様には改めてご連絡いたします。ご協力よろしくお願い致します。

<山形支部のフェイスブック開設>

<https://www.facebook.com/shibaura.yamagata>

支部の活動案内や情報を発信していきます。

皆様是非ご覧ください。



平成28年度総会時

福島支部

支部長 齋藤 敬一郎 建築学科 昭和34年卒業

福島支部は平成27年20周年記念式典を開催し、今年度は21年目になります。会員の親睦を深める為、各種行事を開催しております。

時には家族同伴での一泊旅行を実施したり、東北6県他支部の方々との合同懇親会を開催したり、飲み会を開催したり、とにかくアットホーム的雰囲気を持っている支部です。

昨年度主要行事としては、6月「福島支部総会」、11月「西会津散策と新蕎麦を食べる会」を実施しました。また参加行事としては、4月「東北6県支部長会議」、6月「全国総会」、10月「宮城支部 復興5周年記念 東松島市探訪」、「東北6県支部ゴルフコンペ」、「ロボットセミナー」、1月「新春賀詞交換会」がありました。校

友会HPとFaceBOOKで報告している行事もあります。今年度もほぼ同様の行事が開催予定です。

5月27日(土)は「福島支部総会」が決定しております。身近な行事として「地域訪問イベント」もあります。福島県在住の卒業生の皆様、校友会HPでは総会、地域イベント、懇親会の様子を写真付き報告書にまとめご覧頂けます。

先日開催された幹事会では、1名の新たな参加者が訪問されて美味しい昼食を共にし、近況を伺ったり支部活動状況をお話しました。

先輩、後輩とのつながりができ、仕事、趣味の話題、様々な情報を受け取ることができます。活動状況をご覧いただき奮ってのご参加お待ちしております。



11月「西会津散策と新蕎麦を食べる会」

栃木支部

支部長 池田 猛 土木工学科 昭和48年卒業

平成28年度から、新支部長となった池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、平成28年度の栃木支部総会は、11月5日(土)に校友会本部より神野副会長、大学から満重総務部長のご出席を賜り、盛大に開催することができました。総会後の研修会では、支部会員から宇都宮市におけるまちづくりの説明、さらに満重総務部長から大学および校友会

の現状等についての講演をいただき、その後の懇親会では、支部会員同士の親交を深めるとともに、情報交換を行うなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後とも、会員の支部への参加を呼びかけ、栃木支部の活性化を目指すとともに、会員の輪を広げ、芝浦工業大学の発展に寄与していきたいと考えております。栃木県在住の卒業生の皆様の参加をお待ちしています。



茨城支部

支部長 増山 栄 建築学科 昭和47年卒業

茨城支部総会は11月26日（土）水戸市内の「三の丸ホテル」にて開催しました。

来賓には、校友会副会長の林田和雄様にご出席頂きまして、母校の現況等を拝聴し皆で昔の学生生活に心が高鳴る思いに浸る事ができました。

そして、今回は茨城県総務部長の菊地健太郎様をお迎えし「茨城県の近未来」についての講演と、地元水戸市出身の講談師 神田真紅様をお招きし「水戸黄門漫遊記」の講談を頂き、大変好評でした。

今回は、会員60名の多くの出席者があり、総勢63

名での総会、懇親会は会員相互年代を超えての情報交換の場となり、大変熱気に溢れていました。懇親会最後は校歌斉唱で締め、次年度の再会をお約束しての終了となりました。

今後は益々校友会の絆を広げ、少しでも母校の発展にお役に立てるよう頑張りたいと思います。

次回には1人でも多くの卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一緒に盛り上げていきましょう。



群馬支部

支部長 半田 公作 建築工学科 昭和52年卒業

支部総会を平成29年3月4日に高崎のホテルメトロポリタンにて開催しました。過去最高34人の参加があり、会員の皆様には大変感謝しております。本部からは鈴見健夫校友会会長、横田壽芝浦工業大学常務理事をお迎えして、盛大に開催することが出来ました。

今回から初めての試みとして、副支部長の山口氏が『10年後の建築設計』と題して20分程講演して貰いました。今後も会員の仕事紹介、企画提案等盛り込んでいく予定です。

懇親会では、芝浦人として先輩の軌跡を聞き、後輩に背中を見て貰うことでは会員の自信に繋がることを期待しています。

最近では若い会員も参加して懇親会では自己紹介など一人一言の近況などを聞き、会員のそれぞれの企業に於ける役割等がよく理解できました。今後も若い人の参加を推進していきます。女性の参加も大変喜ばしい事です。

平成17年度の活動としては、会員の企業の工場見学会を開き会員の更なるものづくりに対する探求心の向上、意見の交流、親睦を図っていきます。1回目は4月14日に開催しまして、2回目を10月頃に計画しております。また、ゴルフコンペと忘年会を兼ねて11月に予定しております。群馬支部のブログを立ち上げましたので、ご意見を頂戴しながら近況を載せて貰うと有り難いです。



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業
事務局長 板垣 真人 建築工学科 平成9年卒業（文責）

私たち埼玉支部は、多くの在校生が通う大宮キャンパスがあるため、校友のみでなく、在校生とも積極的に繋がりをもちながら、校友会活動を進めております。

また、平成28年10月22日（土）に開催された平成28年度埼玉支部総会においては、大学、後援会、校友会本部並びに近隣都県支部（東京総、多摩、群馬、千葉県、神奈川）から来賓のご臨席を賜り、大学の現状や校友会の報告等、有意義なお話をいただきました。その後の懇親会においては、大宮キャンパスを拠点に活動しているアカペラサークルNewToneの歌を聴きながら、校友同士の交流に加えて、在校生との歓談と、充実した時間を共有できました。

恒例となった春の埼玉支部主催の行事として、平成29年4月15日に「下町巡り：深川散策とワイナリー巡りの旅」を開催しました。昭和30年代の卒業生から平成28年卒の校友30名程度にお集まりいただき、深

川の街を散策してワイナリーでワインの醸造所の見学と試飲（テストング）を楽しみました。ワイナリー見学後、清澄通りを北に向かい沿道の寺社を巡りながら清澄庭園でゆったりとした時間を過ごし、深川江戸資料館では、江戸のノスタルジックな時間を体験しました。最後には深川ワイナリーのワインレストラン Wine Table 九吾郎でワインに合う和のテイストをいかしたお惣菜でのお食事とワインを囲んでの埼玉の校友皆様との世代を超えた懇親会を楽しく行いました。

平成29年度支部総会は、10月頃を予定しております。詳細が決まり次第、校友会支部のホームページ（<http://www.shibaura-koyu.jp/>）に掲載いたします。また、最近の活動報告も掲載しておりますので、ご興味のある方はご覧ください。埼玉支部一同、校友の皆様の参加をお待ちしております。



千葉県支部

支部長 金井 昭三 機械工学第二学科 昭和41年卒業

千葉県支部総会は、毎年2月の第4土曜日に開催することにしています。

平成28年度総会を平成29年2月25日にJR千葉駅前のセンシティタワー「東天紅」で開催しました。

今回は若手幹事の企画による「楽しい支部総会」をテーマにビンゴゲームを行い、参加者全員に賞品をお持ち帰りいただきました。

千葉県は非常に広いので毎年支部総会を千葉駅周辺で開催していますが、活動内容は十分とは言えません。今

後は船橋エリア、木更津エリア等の分会設立を目指すと共に、いちご狩り、潮干狩り、地引網等、親子で参加できるイベントを企画し、一人でも多くの千葉県在住の校友が参加しやすい環境を整えて行きたいと考えています。

また、千葉県支部では春と秋の年2回の親睦ゴルフコンペを開催していますので、千葉県在住や千葉県内の企業に勤務している卒業生の皆様には是非参加して頂ける様、心からお待ちしております。



東京総支部

支部長 大丸 征史 電子工学科 昭和39年卒業

東京総支部設立10年目を機に、新たな改革に取り組んでおります。卒業生の最多の支部の活動としては不十分な点が多く、抜本的な活性化の必要性が求められております。

今回、新たに発刊された卒業生名簿を活用した増員対策の検討に取り組んでおります。例えば現役の方で少し余裕ができた方や、リタイアされた方へのハガキ、電話等により参加していただくお願いを重点に、若手、中堅卒業生会員の増員のための施策に取り組んでいきたい。

一方、名簿には現在お住いの地域別に卒業生が分類されており、総支部の分会のような組織の立ち上げの可能性も検討したい。

今年度も支部の特徴である実社会で活躍されている卒業生の顧問、幹事への就任依頼も積極的に行っております。

す。

また、恒例になっている夏の父母懇談会への若手卒業生の派遣（昨年は二日間、2会場で30名）や、毎年11月に開催される支部総会での学生団体による講演会や懇親会での文武両道で活躍している4クラブの学生（20人以上）を招待し、校友会への理解を深め将来参加していただくステップになればと取り組んでおります。

是非、東京地区、近辺にお住いの方、職場が東京にある方への参加のお願いの節には、ご一考いただければ幸いです。

新たな校友との出会が今後の人生にプラスになることと思っております。

皆様のご参加をお待ちしております。



神奈川支部

支部長 安藤 脩二 電気工学科 昭和35年卒業

神奈川支部は、創立30周年目の活動を行っています。神奈川県は芝浦校舎に近い事もあり、6,600名の校友会員が在住しています。校友会員に支部活動をお知らせする手段として、大学のご協力を頂き広報誌に活動内容を同封する方法を採用しています。今年も、会員がご家族と楽しく遊べる場として湘南のサザンビーチで地引き網を実施します。毎年参加者が増えまして、昨年はずいに130名になりました。今年はそれ以上の方々に網を引く喜びと魚に触れる楽しみを満喫して頂く様企画しました。特にシラスが獲れるとその場で生食に舌鼓を打ち、シラスの釜茹でをお土産にする等、最高の一日を過ごして頂いています。又、9月には支部総会を開催します。

総会の後に見識を広げて頂ける様な講演を企画します。そして懇親会では会員の方々の交流をより一層深めて頂ける様、美味しい中国料理でおもてなしを致します。更に、少年少女ロボットセミナーは平塚をはじめ3か所も開催を予定しています。箱根駅伝予選会や父母懇談会など大学や校友会の行事にも積極参加しています。この様な活動を実施する為に20名の役員が2ヶ月毎に役員会で集まり、12月には箱根で一泊してスキップを維持し、支部活動の企画や運営を協議し、本部や大学の情報を受けて色々な活動に対する協力体制を作り上げています。



富山支部

藤田 秀樹 建築学科 昭和63年卒業

富山支部では二年に一度の総会を、開催しております。前回は昨年平成 28 年 7 月に開催しました。役員交代が承認され新支部長に辻田恵一（機械二科 S47 卒）さんが指名されました。なお総会は、毎回「富山電気ビルディング」という建物で行われております。富山県で現存する最も歴史のある建物です。数年前に TBS 系の戦時中ドラマロケに使われたりした場所です。近代建築の、大変趣のある会場です。総会後の懇親会では、同じ工学を学んだ者同士、毎回話がはずみ和やかな雰囲気となっております。懇親会の閉めは山岳系部活出身の川崎政善（前支部長 建築学科 S45 卒）さんの先導による校歌と応援エールの斉唱です。恒例となっているこの締めは、大変盛り上がる瞬間でもあります。

新支部長の辻田さんの会社は台湾にも拠点があり、台湾支部との交流を計って行こうとしております。また、距離的に近い岐阜県高山市の同窓生との交流も計画しております。



平成27年総会時

校友会に限らず、政界、経済界、その他の集まりなどでも、同窓生とお会いすることがあります。歴史のある芝浦工業大学の層の厚さを感じます。

北陸新幹線も開業後、三年が過ぎ、東京出張が日帰りとなるのが当たり前となりました。

便利になった反面、せわしなさを感じる所ですが、首都圏の方には気軽に出かけられる旅行先として、北陸の魅力が一層増したのではないかと思います。

最も歴史のある近代建築の大和富山店（百貨店）跡地に「TOYAMA キラリ（富山市立図書館、ガラス美術館、他）」が 2015 年にオープンしました。隈研吾氏の設計によるその建物は異彩を放ち訪れた人から絶賛が相次いでおります。また世界的に有名になった「環水公園」が、富山市駅北にあります。更に、その隣接地には「富山県美術館」が今年オープンする予定です。海の幸、山の幸に富んだ富山に是非お越しいただければと思います。



平成27年開催ゴルフ大会

石川支部

支部長 西 正次 土木工学科 昭和49年卒業

石川支部は 60 年余りの歴史があり、現在の会員数は 200 名を超えています。

一昨年の総会では西支部長が選任され、早速の取組として、県内各地の進学校 11 校（過去の進学実績を考慮）に対し、夏場を中心に各校の OB を伴っての挨拶回りを実施しました。各校の進学の現状を伺いながら、本学の情報を正確に提供しています。進路担当の先生方とのやり取りの中で、本学の評価が年々高くなりつつあることを実感しているところであります。

写真は昨年の支部総会の様子で、若い会員も含めての OB 交流の場となっています。北陸新幹線が金沢まで開通した今、首都圏から約 2 時間半、空路でも羽田小松便で約 1 時間という距離でつながっています。本年の支部総会は 7 月 7 日に ANA ホリデイ・イン金沢スカイにて開催を予定しておりますので、是非北陸新幹線または羽田小松便を活用してお越し下さることを期待しております。



福井支部

西浦 正三 土木工学科 昭和45年卒業

福井支部は校友会本部と連携しながら、活動を行っています。例年7月末に総会・懇親会を開催しています。また、9～10月には、各会員が各地の高校へ出向き、大学の魅力を発信し、受験者拡大の運動を実施しています。特に今年度は、女子の会員とともに女子高校へ出向き説明を行いました。もう一つ『福井県全国大学対抗ゴルフ大会』にも初参加し、他大学との交流を深めました。

その他に、毎年2月開催の『新年の集い』や『地域ブロック別活動』、近況を校友会HPで全国に紹介する『会員訪問』などの活動を行っています。

新しい会員、転勤等で県内に在住の方は是非声を掛け

ていただきたいと思います。

会 長	西浦 正三	工大土木 S45 年
副 会 長	森本誠一郎	工大電気 S50 年
副 会 長	永井 弘明	工大建築 S53 年
幹 事	前田 利尚	工大土木 S53 年
幹 事	村上 一幸	工大土木 S60 年
幹 事	木下 貴之	工大 院 (建設工学) H20 終了
会計監査	田中 大成	工大建工 S57 年



静岡県同窓会支部

支部長 鈴木 和幸 土木工学科 昭和50年卒業

平成28年度第39回支部総会を7月2日(土)に開催し、来賓8名を含め40名もの会員が集まりました。

I部の支部総会は前年度の事業・会計・監査報告、新年度の事業計画の審議をし、拍手による可決を受けました。

II部の懇親会は、愛知の平塚支部長、岐阜の平井支部長、神奈川の安藤支部長の各来賓から挨拶を頂きました。そして例年にも増してビンゴで盛り上がりました。

平成28年9月18日(日)19日(祭日)には静岡市葵区の静岡市立高等学校に於いて、「少年少女ロボットセミナー in 静岡」を開催し、小中学生56名が参加しました。水川名誉教授は「ロボットのおはなし」と題し講演し、その講演会場は階段状の視聴覚教室で、小学生は会場の盛り上がりにも呑まれるくらいでした。リモコ

ン操縦の6足歩行ロボットの組立て、デザインコンテストやロボット同士を土俵上で戦わせるバトル大会が行われ、静岡市長も来場し応援され、盛大に終了しました。また、このときの入賞者3名が11月の全国大会に参加し、ボクサー部門で連続上位入賞し、静岡の高いレベルが実証されました。



関西支部

支部長 松岡 英治 建築学科 昭和54年卒業

平成 28 年度の関西支部総会は 11 月 18 日に「個室 & パーティ会場 Morishita」にて開催しました。来賓として学校から五十嵐理事長、校友会からは鈴見会長を迎え、関西支部会員 50 名（内新卒 12 名）の総勢 52 名での支部総会となりました。役員の改選で支部長を水口譲氏より松岡英治氏へバトンタッチ。

懇親会は昨年引き続き今年も、若手会員の企画による「全員参加の楽しい支部総会」をテーマに実施し、全員参加のクイズやゲームを行うなど、昨年以上に盛り上がった総会となりました。

会の最後には校歌斉唱・エール・集合写真撮影を行い閉会としました。

なお支部総会翌日は恒例の親睦ゴルフコンペには、五十嵐理事長・鈴見会長はホームカミングデーで参加出来ませんでした。会員 18 名参加にて、和気あいあいの中で開催する事が出来ました。

関西地区在住の卒業生の方々には、支部総会・親睦コンペに是非参加して頂ける様、心よりお待ちしております。例年 11 月第 3 金曜日が開催予定です。



鳥取支部

支部長 富本 哲郎 電気工学科 昭和40年卒業

鳥取支部は、創設 11 年になります。小規模ではありますが、会員同士和気あいあいとした家族的な支部でありたいと努めています。

支部活動は、東部・中部・西部の各分会が中心となって、7 月の定期総会（東部 or 西部分会）・11 月の分会（西部 or 東部分会）・2 月の新年祝賀懇親会（中部分会）と 3 分会がそれぞれ主体となって 3 回の集会を企画・運営しており、一人でも多くの会員が参加し、懇親・交流が深まる機会としています。

H28 年は、西部分会が担当して「第 11 回鳥取支部定期総会 & 懇親会」が、大学専務理事早乙女徹氏、校友会事務局長岩本行雄氏、常任幹事岡本嘉行氏、中国ブロック各支部から 4 名の来賓のご臨席をいただき、18 名の参加で盛大に開催されました。総会に先立って、専務理事早乙女徹氏により「芝浦工大今昔物語」のテーマで講演があり、プレゼンにより、母校の歴史、近況を分かり

やすく紹介され、当時の思い出や近年の大学の活躍に話題が深まりました。

また、支部創立 10 周年を記念して、地域貢献事業「ものづくり人材育成」を目的に、昨年に続き芝浦工業大学と鳥取支部共催で、子どもが「ものづくり」のおもしろさや楽しさを体験し、興味・関心を深めるために「少年少女ロボットセミナー in 鳥取 2016」を開催しました。子どもたちの熱心な取り組み姿勢には感動すら感じました。指導アシスタントの高校生は、子どもと一緒に完成を喜び、良い経験ができた感想を話していました。

また、8 月には、境港「夢港タワー」で開催された日本海新聞 50 周年記念事業「わくわくロボットランド」のイベントに、鳥取支部は、「ロボットと遊ぼう」をテーマに出展しました。沢山の幼児から小学生まで参加し、ロボットの操作やロボット相撲などに夢中になって興じていた姿・笑顔が印象的でした。



第11回芝浦工業大学校友会鳥取支部定期総会 in 米子 2016



わくわくロボットランド in 境港ゆめタワー 2016

福岡支部

事務局長 内村 正和 土木工学科 昭和49年卒業

福岡支部は、平成18(’06)年3月11日に再発足して以来、今年度で12年目になります。

この間、歴代支部長や三代目の角敬之・現支部長(S45工業化学科卒)を先頭に、支部の拡充・発展、会員相互の親睦と結束、校友会本部や九州・沖縄ブロックの各支部との協力・連携に努めて参りました。また、大学や後援会の九州・沖縄支部の行事や事業に対しても、積極的に協力や支援活動を行ってきました。

平成28年度の当支部の主な事業活動の内容は、以下のとおりです。

6月11日の校友会全国総会・懇親会の席において、月形勲顧問(前事務局長)が、前年の中村宣壽相談役(前支部長)に続き、本部より「功労者表彰」を拝受しました。

6月18日に支部定時総会を開催しました。会員の参加者は22人と少なかったものの、来賓として、大学から野口常務理事(事務局長)、校友会本部から枝広副会長、佐賀支部から山田支部長、大分支部から河野支部長、鹿児島支部から濱田支部長、後援会九州・沖縄支部から武富支部長・寺本副支部長のご臨席を賜り、和やかにそして盛会裏に終えることができました。

9月17、18日は、大学主催の“少年少女ロボットセミナー in 福岡 2016”に、博多工業高校の生徒や後援会の皆様と共に参加し、協力・支援を行いました。

10月8日には、校友会の九州・沖縄ブロック会議を当地で開催しました。その後、後援会主催の父母懇談会の懇親会には、若手を含めて参加し、支援・親交を深めました。

10月29日には、恒例の湯布院での親睦会(ゴルフ・懇親会)を開催しましたが、今回は佐賀、大分、宮崎の各支部からも参加を頂き、夜遅くまで賑やかに楽しむことができました。

今後は新たな時代に向けて、更なる福岡支部の活性化や拡充・躍進を図り、大学・本部・各支部や関係各団体とも交流を深め、協力していく所存です。



熊本支部

支部長 永田 昂生 土木学科 昭和42年卒業

平成28年度の熊本支部におきましては、平成28年4月14日の前震、4月16日の本震という熊本地震にみまわれ、熊本支部会員の多くが甚大な被災をうけました。被災に際しまして、校友会の皆様から、温かいご支援と過分なお見舞いをいただきましたことを厚くお礼を申し上げます。役員会において、総会の中止も検討しましたが、復興への第一歩として平成28年9月7日(水)

に熊本市水前寺の“くまべ”に於いて、熊本支部会員だけの総会を開催いたしました。

熊本で東都大学リーグの各校同窓会が合同で行っています“第20回東都リーグ大同窓会”も震災の影響で時期は遅れましたが、平成28年度は11月4日(金)に“メルパルク熊本”で開催されました。全体では200名を超え、芝工大も例年とほぼ同数の10名の出席でした。



佐賀支部

支部長 山田 清人 昭和48年 通信工学卒業

佐賀支部の登録会員は100名弱ですが、総会への参加の顔ぶれが固定されたメンバーになっていました。そこで、定期総会への参加者を増やすため年4回開催の幹事会以外に課題があれば役員会を招集し、方策を検討。「呼びかけ運動」を行った結果、徐々に参加者が増えました。

28年度は10月22日に佐賀市のホテルマリタール創世で行い、来賓として大学、校友会本部、九州の支部、

後援会九州沖縄支部から参加をして頂きました。30名の仲間が「佐賀市のバイオマス構想」の講演を聞いたり、近況などの情報交換をおこない盛り上がりしました。

これまで卒業生の地元企業への就職が減少しているなか、最近2名の新卒が地元で就職。歓迎会を開き支部の活性化を図っています。今後は埋もれた「仲間」を発掘すべく、情報収集に努めていきたいと思っています。



沖縄支部

山口 瞬太郎 建築学科 平成17年卒業

沖縄に来て6年。昨年度より校友会に参加させていただいています。

沖縄県南風原の丘に老人福祉施設を設計監理し、2016年の春に竣工しました。

旧施設の老朽化に伴う新築移転計画です。移転先の丘の豊かな自然を最大限残しつつ、旧施設が持つ「閉鎖的」な印象を「明るく」「開放的」で、「家族や地域の方も遊びに来たくなる」施設にすることが求められました。吹抜けのあるエントランスホールは、入居者の方と地域の方の交流拠点や、職員同士の交流場所、イベントスパー

スも兼ねており、上階の生活場所と吹抜けを介して見えたり聞こえたりできるようにしています。手摺を兼ねた木のルーバーは、車いすの方や寝たきりの方でも景色が眺められるような形状としつつ、沖縄の日射や台風から守る装置になっており、自然豊かな景観に溶け込むような建築を目指しました。2019年に那覇空港の新滑走路が完成する時期に合わせて、県内の建設業界は多忙を極めつつあります。沖縄支部は若手の交流も盛んで業界の先端情報共有の場となっています。



外観は森に溶け込むように木製ルーバーを配置。



中庭は心地よい風が吹き抜けるように計画している。

英交会支部

幹事長 國北圭二 昭和56年 機械工学第2学科卒業

◆学生との交流◆

英語部学生との交流を重視しており、社会人先輩である英交会員から学生へ各々の社会活動状況を伝え、支援を行っています。2016年6月18日、自動車メーカーで福祉車両の開発を担う会員と自動車を使う会社トップを務める会員により、その連携について後輩の英語部員に対し熱く講演頂き、英語部時代の繋がりが長く社会で役立っていることを理解してもらいました。街で見かける「あの自動車」や「あのサービス」が英交会員による産物だったことに対し、学生達は大きな刺激を受けたことでしょう。

◆遠隔地の英交会員との交流◆

2016年10月2日～3日、英交会員が活躍する地域の訪問として北海道（札幌、余市、小樽）への親睦旅行を実施しました。この目的は、遠隔地在住で中々会う機会が少ない英交会員との交流が図れる場の創出であり、



学生との交流（校友倶楽部）

年一回実施しています。北海道在住の3名の会員と久々の再会が実現し、その活躍振りを語り合い、楽しい2日間を過ごすことができました。また今後は海外在住の会員とグローバルな交流も視野に入れて継続したいと思います。

◆2016年度の主な活動歴◆

- 6月 英語部学生との交流会（田町キャンパス）
- 6月 校友会全国総会参加
- 10月 英交会親睦旅行（札幌、余市、小樽）
- 10月 箱根駅伝予選会応援
- 11月 第52期英交会支部総会（田町キャンパス）
- 12月 忘年会（田町）
- 1月 校友会賀詞交歓会参加
- 2月 英語部4年生追い出しコンパ参加（銀座）
- その他 6回に亘る英交会役員会（田町キャンパス）



遠隔地の英交会員との交流（札幌）

三芝会支部

支部長 岩本毅 昭和63年 建築工学科卒業

校友会会員の皆様、前任者の釜井の後任として三芝会の支部長に新たに就任いたしました岩本です。今後ともよろしくお願いいたします。三芝会は三井住友建設株式会社の職域支部で現在62名で活動しております。

2017年3月7日（火）に芝浦工業大学校友倶楽部にて支部総会を開催いたしました。芝浦工業大学からは五十嵐久也理事長、野口一也常務理事、校友会からは鈴見健夫会長、渡辺 碩校友会監査役、岩本行雄事務局長にご出席いただきました。

当会からは正会員が13名、賛助会員が10名参加し、支部総会、懇親会を開催いたしました。懇親会では各自の近況を報告していただき盛会のうちに終了することができました。ご参加いただいた来賓の方、賛助会員の方、正会員の方に感謝いたします。

建設業という職業柄、会員の多くが作業所勤務で全国に配属されているため、なかなか全員が集まることは困難ですが、前支部長の『継続は力なり』との思いを引き継ぎ、校友会活動に貢献して参ります。



鹿芝会支部

事務局 八幡 真純 平成18年 機械工学科卒業

鹿芝会支部は鹿島建設及びグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する校友会職域支部です。会員数は2017年4月現在で約130名となっており、役員クラスから、新入社員まで幅広い年齢層で活動をしています。これまで鹿芝会を盛り上げて頂いた諸先輩方の軌跡をまた次世代に引き継いでいけるよう、2013年より現会長の増田会長（昭和63年 建築工学科卒）が主となり支部活動の更なる活性化を図っています。主な活動内容としては、各種芝浦工業大学校友会活動への参加、年に1度の総会、春と秋の年2回の鹿芝杯（ゴルフコンペ）、学生へのリクルート支援が大きな行事となっています。

年に1度の総会では東京近郊勤務者20名程度が田町校舎に集まり、1年間の支部活動の報告や、校友会クラブにて近況報告などを通し懇親を深めています。2016年度は、「仕事以外の自分」をテーマに、事前に各自PPT1枚の資料を作成しての近況報告をしました。なか



鹿芝会総会 田町校舎校友会クラブにて

なか見るこのできない会員のプライベート写真に、大変盛り上がりました。また、例年6名前後の新入社員を新規会員に迎え入れており、年々若さに活気付いています。

春と秋の年2回開催される鹿芝杯（ゴルフコンペ）は、毎回晴天に恵まれ、2016年度秋で6回目の開催となりました。学生へのリクルート支援は、リクルーター活動はもちろんのこと、会員の現場に学生を招いて説明会や見学会なども開催しました。

鹿島建設は従業員数も多く、部署や支店が異なっていれば同じ社内でも出会うこともなく、ましてや大所長であったり、部署長であったりすれば、なかなか会話する機会も無いなか、芝浦工業大学卒と言うことで懇親を深められていることは、仕事面でもプライベートでも大きな財産となっています。鹿芝会を、これからも会員全員で盛り上げて行けたらと思っています。



秋の鹿芝杯

清水建設芝浦会支部

支部長 中村 行男 昭和56年 建築学科卒業

清水建設芝浦会は平成12年3月16日に発足し、今年で17年目となりました。4月には7名の新入会員を迎え、平成29年4月1日付の会員が計151名となりました。

清水建設芝浦会では、1年に1度、総会および、懇親会を行っており今年4月28日に行いました。今年度は大学側から専務理事の早乙女徹様、校友会から副会長の林田和雄様に足をお運びいただきました。

懇親会では毎回恒例となりました、新入会員から抱負を一言頂き、返答として各世代の先輩方から暖かい激励

を送ります。また、新企画として昇進された方からも一言頂きました。今までのねぎらい、更なる活躍を祈念しています。新入会員にも眩しく映るようです。

若手の参加も多数、頂戴した緑地に黄色が映える『支部旗』を前に、世代・学科・業務を超えてこの1年の成果、各学科ごとの就職支援なども報告し、盛会となりました。

最後に芝浦工業大学のますますの発展と、校友会の皆様のさらなるご健勝を祈念いたしております。



住芝会支部

支部長 南山 佳徳 昭和62年 電気工学科卒業

住芝会は平成14年11月に発足し、今年で15年目となる職域支部です。

住芝会の活動の一つとして、年に1度支部総会及び懇親会を行なっております。

昨年は9月5日(月)に支部総会及び懇親会を無事開催することができました。

学校側から満重総務部長・本間先生・佐々木課長、校友会から林田副会長・野末様にご出席いただき、大学の現状や校友会の活動の報告等のとても有意義なお話を聞かせていただきました。

懇親会の最後には、頂戴した支部旗をバックに全員で

校歌を合唱し、盛会裡に会を閉じることができました。

今年も9月に支部総会及び懇親会を予定しており、更なる会員相互の交流と親睦を図る予定です。

会員は現場従事者が多く、一堂に会することは少ないので支部総会は貴重な場でもあります。今後も皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、積極的且つ継続的に校友会活動に参加させていただく所存であります。

今年は卒業生が入社して仲間が増えましたので、さらに支部活動を活発にしていきたいと考えています。

最後に、母校芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



竹中芝浦会支部

支部長 安岡 千尋 昭和57年 建築工学科卒業

私たち竹中芝浦会支部は、竹中工務店とそのグループ会社に所属する芝浦工業大学卒業生が集う支部として活動しています。ご存知のように竹中工務店の歴史は古く、織田信長の普請奉行、竹中藤兵衛正高を始祖とし、代々宮大工として、幾多の名ある建築を手がけてきました。その棟梁気質とも言うべきものづくり精神の伝統は、400年に及ぶ歴史の中で、いまま脈々と受け継がれています。

一方、竹中芝浦会の活動の歴史はまだ浅く、支部設立は2002年になります。設立といった何かを始める時には、何かのきっかけと求心力、そしてその力が集束され一つの方向へ向いた時に動き出すこととなります。このことは分業化が進む建築に携わる我々自身も、業務を通じて良く理解しているところです。従って、草創期の初代支部長をはじめ、役員の方々の熱意について思いを馳せた時、その情熱に敬服するばかりです。私たちはこの思いをしっかりと受け継ぎ、確実に繋げていくことを目指し活動をしています。

竹芝会は、今年で設立から15年となります。支部長は私で4人目となります。また支部の総人数(2017年3月現在)は、137人(現役)の規模となっています。主な活動は、年に1回の割合で支部総会(2017年は、5月19日開催決定)を芝浦校舎校友倶楽部をお借りして開催しています。

その会には多くのOBの方々も出席されることから、

現役とOBや、グループ会社相互、さらに部署が異なる現役間の懇親をさらに深めることは勿論ですが、OBを含む全員の中からその年に最も活躍した方に発表をお願いし、現役の活動をOBはじめ多くのグループの方々へも知って頂き、同窓生の活躍が互いにより刺激となる機会となるように工夫をしています。

今後は、地方在住者などで参加が出来ない方々への情報発信のあり方などを課題とし、また実際に一同に集まなくても、同窓の絆から互いに活発な連絡をとりあえる支部にするにはどうすればよいかといったことを念頭に、新たな伝統をひとつひとつ積上げる活動を進めています。



MOT同窓会支部

支部長 西河 洋一 平成21年 大学院工学マネジメント研究科卒業

「芝浦工業大学校友会 MOT 同窓会支部」は、2003（平成 15）年に日本初の技術経営の専門職大学院として開設された、芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科（MOT）の修了生および、現・元教員が、技術経営者としての知識をより深めることを目的に開設されました。MOTの修了生は、2017年3月に卒業した13期生を含めて246名となりました。芝浦のMOTは、修了後に、社長・副社長・重役等に就任したOB・OGも多く、実践的な専門職大学院として知られていましたが、2017年4月の入学生を最後に、学生募集を停止することになりました。本支部は、その精神を引き継ぐべく、より一層、活動を活性化させていきたいと考えています。MOT現役生が企画する夏合宿には、本支部からも毎年参加をしています。

＜堀内義秀 名誉教授の最終講義（2016年7月2日）の開催＞

長年、MOTで教鞭を執られた堀内義秀先生が2016年3月をもって定年退職されました。堀内先生にお世話になった研究室OBとMOT同窓会支部、現職教員の共催で最終講義を開催しました。最終講義は、堀内先生独特のシステム思考のブレインストーミングPBLを演習するという楽しいアイデアを先生ご自身が企画し、和やかな雰囲気の中で盛大に行われました。* PBLとはプロジェクト・ベースド・ラーニングの略です。

（連絡窓口）事務局長 志手 一哉（5期生）、
Email : shide@shibaura-it.ac.jp;



堀内義秀名誉教授の最終講義（2016.7.2）

機械工学科同窓会支部

支部長 高木 光一 昭和48年 機械工学科卒業

機械工学科同窓会支部は、校友会の学科同窓会支部の1号として2012年に設立された新しい支部です。ただし、現在のような同窓会としての活動は、昭和47年ごろから同窓生の有志が集まり定期総会を開催するなど、活動を始めてきました。

また昭和50年代からは、会員相互の親睦を図るとともに芝浦工業大学機械工学科の良き伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、会員名簿の発行、同窓会会報の発行、総会、幹事会、在校生との懇親、講演会などを掲げた事業を行っています。

会員名簿については、個人情報保護の観点から、発行を中止していますが会報などを届けられるように名簿のメンテナンスは絶えず進めています。会報の発行は毎年1回ですが、今年は第34号を発行します。

大学および在校生の皆さんとの接点も大切にしており、新入生のオリエンテーションに協賛したり、卒業生にはささやかですが、卒業記念品を贈呈しています。平成24年からは、3年生後期・機械ゼミナール1でPBL（問題解決型学習）の授業にコーチ役として参加しています。



錬心会支部

支部長 阿部 安行 昭和45年 建築学科卒業

体育会剣道部OB会が発足して55年となり、錬心会支部としてご承認頂いてから6年目となりました。会員間の親睦は元より大学剣道部員並びに両付属中学・高校剣道部員への指導・支援を行っております。近年、留学生剣道部員の入部も多く、道場内でグローバル化も進んでおります。今後錬心会支部は、若手会員の積極的な支部活動への参加と全国総会準備委員会への参加協力をを行い、大学並びに校友会の発展に努めていきたいと考えております。

支部長 阿部 安行 (S45年建築学科卒)
副支部長 小坂 善雄 (S45年工業化学卒)
副支部長 尾立 守道 (S46年土木工学卒)
幹事長 鶴 崇 (S46年建築学科卒)
会計監査 大久保勝示 (S47年建築学科卒)



ギター部OB支部

支部長 渋谷 雅信 昭和53年 建築学科卒業

昨年、11月11日(金)に校友会東京総支部の定期総会で依頼演奏をさせていただきました。(豊洲校舎：右の写真)12月25日(日)に現役学生が第53回定期演奏会を大宮ソニックシティホール(左の写真)で開催しました。現役学生ギターアンサンブル部の部員数は現在4年生を除き26名と安定しています。

今年は、3月18日(土)にSGE-41(昭和41年入学の同期が中心のグループ)の演奏会が千葉県我孫子市

湖北地区公民館で開催されました。6月10日(土)には校友会全国総会・懇親会に出席の予定です。(品川プリンスホテル(アネックスタワー5階)6月25日(日)には東京マンドリン宮田楽団の第136回演奏会(100周年記念演奏会：東京芸術劇場)が開催され現役学生を招待します。6～7月には現役学生の独奏会が開催され、OBも参加させてもらう予定です。※来年秋に創部55周年記念イベントを開催する予定です。



芝浦技術士会支部

支部長（会長） 鯨井 武 昭和54年 通信工学科卒業

芝浦技術士会は、会員数 254 名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学別の組織です。私たちの現在の主な活動は、生涯学習として開講している技術士試験対策講座と、技術士の継続研鑽に繋がる CPD 講座の開催です。技術士は、「技術士法」に定められた国家資格であり、一次、二次試験に合格する必要があります。

芝浦技術士会は、講座を通じて受験者を支援すると同時に、講師と受講生のコミュニケーションを通じて技術者の生き方を知っていただいています。一方、CPD 講座では学内の先生方、並びに学外の技術士や専門家による先端技術、研究の御講演を頂き、知識の拡充に努めております。また、全国の他大学の技術士会とも情報交換を行い、日本産業界における課題の共有や活動について意見を交わしています。校友会支部としての活動におい

ては、全国総会への参加並びに箱根駅伝予選会や野球部のリーグ戦応援にも参加しております。

今後は、これまでの技術士試験対策講座、CPD 講座に続いて「産学官連携」への活動に参画し、会員が積極的にその力を生かせる環境づくりを目指します。そのため第一歩として芝浦工業大学、校友会との更なる関係性を強め具体的な活動を企画、提案致します。また、学外に対しては企業の支援活動も行える体制、環境の整備を進めます。私たち芝浦技術士会が目指すところは、芝浦工業大学と校友会会員の皆様方と一緒に、日本の技術、産業界並びにグローバルな課題を共に考え、一歩ずつ継続的に改善していくことです。何卒、宜しく願い申し上げます。



年次総会後の集合写真、於 芝浦キャンパス（田町）2016年6月4日撮影

硬式野球部OB会支部

幹事 森本 静 昭和50年 工業経営学科卒業

昨年の硬式野球部 OB 会支部総会は、12 月 4 日（土）に豊洲キャンパスにて約 30 名の出席のもと開催致しました。また、同日は「東都大学野球連盟結成 85 周年記念行事」が品川プリンスホテルにて開催され、支部総会出席者全員と本学代表として五十嵐理事長・早乙女理事の出席を頂きながら参加致しました。今年は、硬式野球部 OB 会発足 22 年。校友会支部となって 4 年目となります。現在、硬式野球部 OB 会支部の会員は 700 名を超えますが連絡不通者等を除くと 300 名程度となります。また、総会出席となると 10% に止まっています。そこで、今後の課題として総会への出席者を如何にして増やすかが大きなテーマと考えております。特に、若い OB 達の総会への出席者をどうしたら増やす事が出来るのか。また、女性 OB も何人かおります。この若い OB

達を如何にして総会への参加へ結びつけられるかが大きなキーポイントではないかと思っております。その実現に向けて何が一番の有効手段かは模索中ではありますが、その効果の一つとして考えられるのは、硬式野球部が強くなる事が必要かと思えます。強くなれば話題にも上がり、毎年恒例となっている総会後の選手激励会・懇親会に若い OB 達の出席も増えるのではないかと考えます。今春、大宮キャンパスグラウンドが人工芝グラウンドとなりました。練習環境も大きく変わり、新人選手の勧誘も期待出来ると思えます。硬式野球部の活躍に期待しながら、本年末に開催される硬式野球部 OB 会支部総会への参加者増と、総会終了後に開かれる現役選手を招いての激励会懇親会が華々しく開催される事を期待致します。



シンガポール支部

支部長 長尾 剛 昭和61年卒 建築工学科卒業

シンガポール支部は、2013年に設立され、今年で4年目を迎える新しい支部です。

当初は、15名程度の会員からスタートしましたが、少しずつ輪が広がり、2016年末には23名となっています。構成会員は、1969年卒業の方から2011年卒業の方まで幅広く、また女性の方も2名います。卒業学科については、面白いことに7割近くの方が建築・建築工学科卒ですが、その他、金属、工業化学、機械、土木工学科卒の方々もいらっしゃいます。それぞれの国の特徴や、その国に進出されている企業の種類によって、その割合も違ってくるものと思われます。

支部発足後、年一回の総会の他に、夕食会やゴルフを開催し、会員間の親睦を深めてきました。そうした機会を通じて、年代や卒業学科は違っても、芝浦工業大学の卒業生というだけで、気軽にいろいろな話を出来るのはとても貴重な場となっていますし、様々な職業、立場で仕事をされている方々の話を聞けるのは、非常に有意義なものとなっています。

シンガポールは、東南アジアの中心として、また、政府の優遇措置もあり、各企業の地域統括本部が増えてきています。それに合わせ、芝浦工業大学の卒業生が、シンガポールに来て、働く機会も増えてくると思われます。今後引き続き、現在在籍している会員の皆様の地道な声掛けと、日本人向けのフリーペーパーへの広告掲載など

を用い、会員数を増やしていくとともに、校友会活動を通じて会員間の交流をさらに深めていこうと考えています。



2016年12月19日（月）
シンガポール日本人会『茜』にて、鈴木会長を迎えての総会

ハンドボールOB会支部

副支部長 大村 俊樹 昭和56年 機械工学第2学科卒業

3年前に承認されて、今まで連絡の取れていなかった卒業生とも連絡が取れるようになり、現在会員数は141名になりました。2016年11月19日（土）に総会が開催され、その後の懇親会では、現役生含め45名の出席者があり、10代から80歳まで幅広い集いとなり、会員同士の親睦のみならず現役生との親交も深めることができました。全日本を制した時代のOBから貴重な話を聞くことができ、楽しく和やかな懇親会でした。

秋のリーグ戦では上部との入替え戦にのぞみ、多数のOBも応援に駆けつけました。その甲斐もあってか、見

事昇格を果たしました。私たちの時代と違って、今は部員全員が集まったの練習はなかなか難しくなっていると聞いております。そうした中での昇格はOB会にとっても大変うれしいニュースでした。

今後も試合の応援や合宿費の援助等の支援活動に努めると共に、総会・親睦会に会員並びに現役生にも積極的に参加いただき、部活動以外にも貢献できるよう支部を発展させていきたいと思っております。

今年の総会・親睦会は10月21日（土）を予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



支部総会 2016.11.19（校友倶楽部）

上海支部

支部長 秋谷 直信 建築学科 昭和50年卒業

2015年10月に校友会本部のお声かけで交流会を実施させて頂き、2016年1月に上海支部設立に至りました。

上海だけでなく、蘇州など華東地区で働く卒業生がメンバーです。駐在員が多いため、出入りが多く、人数は15名程度と小規模ですが、60代から20代まで幅広い年代が集まり、楽しく交流しています。去年は、ゴルフ

コンペ、懇親会、第1回支部総会を実施、親睦を深めました。

まだまだ走りだしたばかりの支部ですが、さらなる会員募集、継続的な活動に努めていきたいと思えます。華東地区に駐在されている方、これからされる方、また長期出張等で来られる方のご参加をお待ちしております。



熱流体力学研究会支部

支部長 加藤 善次郎 昭和55年 機械工学科卒業

熱流体力学研究会支部は、今年3月4日に豊洲キャンパスにて本部飯島監査役を迎え、参加者45名にて支部設立総会を開催し、その後校友会本部に支部設立申請を行い、今年3月23日の常任幹事会にて支部に承認された出来立てほやほやの支部です。

私たちは、機械工学科熱流体力学研究室の卒業生で構成される支部です。熱流体力学研究室は、始めは流体力学研究室として昭和45年岡本史紀先生を迎え、その後、岡本研究室の卒業生でもある角田和巳先生にエネルギー変換工学研究室として引き継がれ、現在47年の歴史のある研究室で、卒業生は600名を超え、今後も卒業生を排出し更なる拡大が望める支部です。

今回支部設立に際しては、すでに私たちの卒業学科支部である「機械工学科同窓会支部」が存在していましたが、「熱流体力学を先生方と一緒に研鑽し続けられる

卒業生の集まり」を結成したいとの強い希望があり、またそれならば一層の事「校友会支部」として大学及び校友会の認知団体として活動し、強いては母校芝浦工業大学の発展に寄与できるような学術団体を目指してはどうかとの意見などから独自に設立することとしました。

熱流体力学研究会は、熱流体力学に関する研修、企業協賛のフォーラムなどを卒業後も開催し、学問を研鑽してきた団体です。(一時は平田元学長も参画されていました)また、現在も角田研究室からは卒業生を排出し、その研究を中断する事なく、現役学生を支援し、将来日本の工学を担う人材の育成と、そして母校の発展を願っている支部であります。

今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。



“支部旗” 全国にひるがえる

芝浦工業大学は本年で創立90周年を迎えました。
校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職
域支部を合すると全国で89の支部数になり、卒業
生は全国のあらゆる地域、会社などで活躍していま
す。



平成28年全国総会で揚げた支部旗



奥村組支部へ支部旗を授与

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に
芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続4回開催した支部に授与されま
す。これから授与される支部のご健闘を祈ります。

校友会「会員名簿」2016 発刊について

校友会では、2017年3月に校友会会員名簿を刊行し販売しております。2016年3月時点での卒業生、
約50,000名が掲載されております。お仕事や同好活動など会員同士の連絡にお使いください。

●名簿の内容について

この名簿は卒年、学科単位だけではなく、各県別、郵便番号順に編集したもので
す。このため各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか把握でき、地
域での会員の繋がりと利用し易さを目指し編集されたものです。

なお、制作に当たっては個人情報保護法を遵守することは当然ですが、その精
神を尊重するとともに、大学とも十分協議し、制作したものであることを付け加
えさせていただきます。

●ご購入方法について

芝浦工業大学卒業生に限り、お一人様一冊のみご購入いただけます。氏名、卒
年、学科、送付先住所および「名簿購入」と明記の上、代金5,000円（送料込）
をご送金ください。ご入金確認次第発送いたします。

《御振込先》 郵便局 加入者名 : 芝浦工業大学校友会
口座番号 : 00160-5-9575



◀ 5,000円
(送料込)

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏
指揮：金 洪才
独唱：望月哲也
演奏：新日本フルハーモニー交響楽団

「校歌」

作詞：北原白秋
作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】
〒108-8548
東京都港区芝浦 3-9-14 芝浦工業大学内
TEL：03-5445-9634 FAX：03-5445-9635
e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575

校友会 常任幹事会 名簿 (役員を除く) 平成 29 年 6 月 10 日 現在



常任幹事
岡本 嘉行
建築学科 昭和 34 年卒



常任幹事・特別委員
長沢 栄太郎
建築学科 昭和 46 年卒



常任幹事・特別委員
浅見 勝
建築学科 昭和 51 年卒



常任幹事
安藤 脩二
電気工学科 昭和 35 年卒



常任幹事・組織委員
内田 武男
土木工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・例規委員
野上 宏明
金属工学科 昭和 51 年卒



常任幹事
中村 宏
土木工学科 昭和 37 年卒



常任幹事・特別委員
井出 恵尉
工業経営学科 昭和 47 年卒



常任幹事
小貫 諭
工業化学専攻 昭和 52 年卒



常任幹事・組織委員
大丸 征史
電子工学科 昭和 39 年卒



常任幹事・財務委員
森川 理
電子工学科 昭和 47 年卒



常任幹事
吉池 富士夫
金属工学科 昭和 51 年卒



常任幹事・事務局長
岩本 行雄
工業化学科 昭和 44 年卒



常任幹事・例規委員
赤井 和憲
土木工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・例規委員
鯨井 武
通信工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・組織委員
清水 修司
建築学科 昭和 44 年卒



常任幹事・組織委員
長井 義明
建築学科 昭和 47 年卒



常任幹事・組織委員
犬塚 祥二
建築工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・総務・広報委員
小平 和一郎
電子工学科 昭和 45 年卒



常任幹事
土屋 賢一
建築工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・事業委員
木名瀬 英彰
土木工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・組織委員
小野瀬 等
通信工学科 昭和 45 年卒



常任幹事・事業委員
野口 博文
土木工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・例規委員
安齋 正博
機械工学第二学科 昭和 55 年卒



常任幹事・事業委員
野田 浩
通信工学科 昭和 45 年卒



常任幹事・事業委員
高木 光一
機械工学科 昭和 48 年卒



常任幹事・財務委員
加藤 善次郎
機械工学科 昭和 55 年卒



常任幹事・特別委員・
在校生就職支援委員
角野 和明
建築学科 昭和 46 年卒



常任幹事・事業委員
斎藤 教男
建築学科 昭和 49 年卒



常任幹事会副議長・事業委員
釜井 重一
建築学科 昭和 55 年卒



常任幹事・事業委員
植松 恵一
通信工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・事業委員
森本 静
工業経営学科 昭和 50 年卒



常任幹事・総務・広報委員
元井 彰
土木工学科 昭和 55 年卒



常任幹事
川越 進
土木工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・在校生就職支援委員
小川 達生
通信工学科 昭和 51 年卒



常任幹事・総務・広報委員
中根 眞行
工業経営学科 昭和 55 年卒



常任幹事会副議長・財務委員
文倉 辰夫
電気工学科 昭和55年卒



常任幹事・特別委員
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成1年卒



常任幹事・事業委員
市川 拓
機械工学第二学科 平成8年卒



常任幹事・組織委員
中村 行男
建築学科 昭和56年卒



常任幹事・財務委員
苅谷 義治
金属工学科 平成2年卒



常任幹事・在校生就職支援委員
伊代田 岳史
土木工学科 平成9年卒



常任幹事・事業委員
青木 豊治
機械工学科 昭和57年卒



常任幹事・組織委員
吉本 竜也
建築学科 平成3年卒



常任幹事・総務・広報委員
中川 雅史
土木工学科 平成12年卒



常任幹事・事業委員
長谷川 健嗣
機械工学科 昭和57年卒



常任幹事・総務・広報委員
安藤 吉伸
二部電気工学科 平成4年卒



常任幹事・総務・広報委員
柏倉 隆行
機械制御システム学科
平成12年卒



常任幹事
平井 良樹
工業経営学科 昭和57年卒



常任幹事・例規委員
齋藤 敦史
通信工学科 平成4年卒



常任幹事・財務委員
野元 明俊
二部電気工学科 平成12年卒



常任幹事・特別委員
佐々木 克則
電気工学科 昭和60年卒



常任幹事・例規委員
安田 俊司
機械工学第二学科 平成4年卒



常任幹事・総務・広報委員
滝下 勇
二部電気設備学科 平成16年卒



常任幹事・組織委員
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和60年卒



常任幹事・例規委員
山口 正樹
電子工学科 平成5年卒



常任幹事・事業委員
西河 洋一
工学マネジメント専攻
平成21年卒



常任幹事・総務・広報委員
藤田 利行
電気工学科 昭和62年卒



常任幹事・特別委員
新井 剛
金属工学科 平成7年卒



常任幹事
福井 幸博
地域環境システム専攻
平成23年卒

校友会 相談役・顧問 名簿

平成29年6月10日 現在



顧問・組織委員
滝沢 厚征
建築学科 昭和39年卒



顧問・組織委員
岡本 泰明
機械工学科 昭和41年卒



顧問・組織委員
雲然 國幸
機械工学第二学科 昭和41年卒



顧問・組織委員
田口 継道
建築学科 昭和39年卒



顧問・総務・広報委員会
小川 誠
機械工学第二学科 昭和41年卒



相談役・組織委員
郡司 卓臣
機械工学科 昭和43年卒



顧問・例規委員
今村 均
機械工学科 昭和40年卒



相談役・事業委員
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和41年卒



顧問・事業委員
吉野 巖
機械工学科 昭和43年卒

校友会 支部及び支部長紹介

平成 29 年 6 月 10 日現在

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北海道	高野 義昭	48・土木工学科
青森	木村 喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤 龍一	50・建築工学科
秋田	渡邊 淳悦	51・建築学科
宮城	鎌田 正夫	46・建築工学科
山形	川越 進	46・土木工学科
福島	斉藤 敬一郎	34・建築学科
栃木	池田 猛	48・土木工学科
茨城	増山 栄	47・建築学科
群馬	半田 公作	52・建築工学科
埼玉	吉池 富士夫	51・金属工学科
千葉県	金井 昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	大丸 征史	39・電子工学科
多摩	谷川 潮	45・機械工学第二学科
神奈川	安藤 脩二	35・電気工学科
新潟	臼井 静男	48・土木工学科
長野	北村 武彦	45・建築学科
山梨	渡辺 一郎	46・建築工学科
富山	辻田 恵一	47・機械工学第二学科
石川	西 正次	49・土木工学科
福井	西浦 正三	45・土木工学科
岐阜	平井 良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木 和幸	50・土木工学科
愛知	榊原 周造	45・建築工学科
三重	谷水 佐久也	50・電子工学科
関西	松岡 英治	54・建築学科
鳥取	富本 哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本 光昭	45・通信工学科
島根	浅野 正教	45・建築学科
広島	立木 貢	43・土木工学科
山口	河口 英明	45・土木工学科
香川	田岡 哲也	57・金属工学科
徳島	宮本 博	47・建築学科
愛媛	高木 二郎	47・建築学科
高知	吉本 哲生	50・土木工学科
大分	河野 元勝	45・土木工学科
福岡	角 敬之	45・工業化学科
宮崎	尾形 彰史	52・建築学科
熊本	永田 昂生	41・土木工学科
佐賀	山田 清人	48・通信工学科
長崎	藤本 博文	61・工業化学科
鹿児島	濱田 英俊	43・電気工学科
沖縄	仲西 聰	56・土木工学科
韓国	金 範得	19・土木工学科
台湾	江 文雄	63・機械工学第二学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
タイ王国	川口 祐司	53・工業化学科
上海	秋谷 直信	50・建築学科
シンガポール支部	長尾 剛	61・建築工学科
MOT同窓会	西河 洋一	H21・工学部以外専
機械工学科同窓会	高木 光一	48・機械工学科
よろく会	小寺 貴士	46・通信工学科
緑会	井家 良明	35・建築学科
英交會	浅野 昌宏	44・電子工学科
黒潮會	加藤 善次郎	55・機械工学科
工科大学フォーラムOB会	梅元 千代志	41・電気工学科
錬心會	阿部 安行	45・建築学科
柔道部OB会	早川 金光	51・建築学科
ギター部OB	渋谷 雅信	53・建築学科
芝浦技術士会	鯨井 武	56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前野 和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	金田 裕治	H26・機械工学第二学科
ハンドボール部OB会	井出 恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川 昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田 真利	59・工業化学科
スキー部OB会	山田 敏明	44・土木工学科
熱流体力学研究会	加藤 善次郎	55・機械工学科
安藤建設芝浦会	不 在	
大林グループ芝浦会	不 在	
奥村組芝浦会	吉本 竜也	H3・建築学科
神奈川県庁	鈴木 祥一	56・土木工学科
川崎市役所	藤倉 茂起	56・土木工学科
関電工芝浦会	鈴木 雅久	56・建築工学科
京三	片山 雅則	56・電気工学科
熊谷組芝浦会	宮澤 守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳沢 純一	62・建築工学科
三芝會	岩本 毅	63・建築工学科
鹿芝會	増田 孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	中村 行男	56・建築学科
住芝會	南山 佳徳	62・電気工学科
大成芝浦会	種元 賢弘	H2・建築学科
ダイダン	近藤 孝	56・建築工学科
大日本土木	長谷川 勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内 祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	安岡 千尋	57・建築工学科
戸田建設芝浦会	古越 仁	55・電気工学科
飛島建設芝浦会	不 在	
日比谷芝浦会	岡本 正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	佐々木 茂人	H3・土木工学科
芝友會	中村 信夫	19・機械工学科

校友倶楽部 利用のお願い

校友倶楽部は、同窓会・女子会等で利用可能な校友の為の施設です。
お電話・メールで空き状況を確認して頂き、大いに活用して下さい。



ブラックラウンジ



ホワイトラウンジ

◆利用に関して◆

- ・ 芝浦工業大学卒業生であること前提です。
- ・ 料 金 飲み放題付き 4,000 円から (料理の内容など相談に応じます)
- ・ 人 数 各 20 名程度 (ホワイト・ブラック両方利用で立食形式の場合、最大 80 名)
- ・ 時 間 11 時～17 時 17 時～21 時 (飲酒を伴う利用は 17 時以降)



皆様のお越しを
お待ちしております!!



長井支配人(中)と
アシスタントの富田さん(右)川嶋さん(左)

空き状況の確認・ご予約はこちらまで

芝浦工業大学校友会校友倶楽部
支配人長井義明

(TEL)03-5445-9646 (FAX)03-5445-9635

(E-mail)y-nagai@shibaura-koyu.jp

校友会 HP コンテンツ紹介

芝浦工業大学校友会ホームページには
校友会員の皆様に向けた情報を掲載しております。

事務局からのお知らせや行事予定、支部紹介記事、実学サロンのご案内など最新情報に加え「校友会だより」「全国総会・懇親会プログラム」のバックナンバーの閲覧もできます。

詳しくはこちらから

<http://www.shibaura-koyu.jp/>

芝浦工業大学校友会

検索



●行事カレンダー

<http://www.shibaura-koyu.jp/calendar/>

カレンダーには、各支部総会や各種委員会、実学サロンの開催予定を表示しております。

校友会ホームページのトップ画面にございます「行事カレンダー」アイコンをクリックすると表示されます。

予定が登録されているセルをクリックすると、予定内容の詳細表示画面に移動します。



●ファイル共有機能（支部用）

<http://www.shibaura-koyu.jp/admin/> （管理ページ）

文書データ、名簿、その他資料などを保護されたエリアにて共有する機能です。



●全国校友会支部紹介

<http://www.shibaura-koyu.jp/sibu/>

地域・海外・同好・職域支部、全 89 支部の「支部紹介」「支部長・役員紹介」「活動状況報告」を随時更新しております。

「活動状況報告」では支部総会開催のご案内や開催後の報告、支部イベントのご案内などを各支部担当者が写真付きで掲載しております。



《支部ご担当者の皆様》

支部の最新情報やイベントのご案内などより多くの方に芝浦工業大学校友会支部活動を知っていただくために活用して頂ければ幸いです。

ログインパスワードは各支部担当者にお知らせしております。

また、「更新マニュアル」もございますので必要な方は本部事務局までお問合せください。



校友会総務広報委員会では、会員の要望による取り込みと併せより円滑で効率の良い組織運営を目指して対応しております。引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

(総務広報委員一同)

卒業生の皆様へ

資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常価格より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップに是非お役立て下さい。

受講できる講座は日建学院が提供している講座5種です。これはWEB 講座でインターネットを使用した動画による講義(個別コース)と通学による講義(通学コース)です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB 講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。(※事前に体験版で動作確認下さい)

◎提供する講座

- 1級建築士学科(Web)講座(個別コース)
- 2級建築士学科(Web)講座(個別コース)
- 宅地建物取引士(Web)講座(個別コース)
- 1級建築士学科 本科講座(通学コース)
- 1級建築施工学科 講座(通学コース)

一般学費(税別)

- 300,000円 ⇒
- 300,000円 ⇒
- 100,000円 ⇒
- 500,000円 ⇒
- 250,000円 ⇒

校友会特別学費(税別)

- 150,000円(28年受験)
- 142,000円(28年受験)
- 80,000円(28年受験)
- 428,000円(28年受験)
- 209,000円(28年受験)

◎講座内容

- 講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
- 日建学院ホームページ
<http://www.ksknet.co.jp/nikken/>



◎案内から申込みまで



◎申込方法

- 校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ <http://www.shibaura-koyu.jp/>
- 校友会にお申込後 4 日程度で日建学院から案内書が発送されます。
- 代金振り込み後、1 週間でパスワードが通知されます。

ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会
事務局

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
TEL:(03)5445-9634 FAX:(03)5445-9635
E-mail:sitfriends@shibaura-koyu.jp

技術士試験対策講座のご案内

本講座は、技術士試験受験者の合格サポートを目的としています。
他に類を見ない特別料金で芝浦工業大学の教員が合格を全力サポートしています。



技術士資格取得へのプロセス

① 大学エンジニアリング課程修了者

② 一次試験(筆記試験)

日本技術者教育認定機構(JABEE)の教育課程修了者は一次試験免除

一次試験対策講座

大学で学んだ講義を振り返り、過去の出題傾向の分析をもとに基礎・適性科目、電気電子部門、機械部門、建設部門各分野の基礎について解説します。広い出題範囲の中から取捨選択することは困難であることから、ポイント整理に役立ちます。

合格

③ 修習技術者(登録で技術士補)
(一次試験合格者及びそれと同等と認められた者)

④ 指導技術士の下で実務経験4年または、
優れた指導者の監督の下で実務経験4年または、
実務経験7年のいずれかを満たした者

⑤ 二次試験(筆記試験、口頭試験)

二次試験対策講座

受験申込書・業務経歴票(技術的体験)の書き方、答案作成、口頭試験のポイントに重点を置き講義、答案添削を行います。電気電子部門、機械部門、建設部門で受験される方をサポートします。また、講座動画の配信を開始しました。

合格

⑥ 技術士登録

【お問い合わせ先】

芝浦工業大学 校友・後援会連携課(内 芝浦技術士会事務局)
Tel. 03-5859-7030 / Fax. 03-5859-7031
E-mail: koyu@ow.shibaura-it.ac.jp

御寄付の御礼

芝浦工業大学校友会支援のため御寄付を賜りました。ご支援頂き誠にありがとうございます。

寄付者一覧（敬称略）

安河内 正俊	福井 透	藤原 孝央
土居 志朗	執行役員一同	

皆様のご協力と、ご厚志に深く御礼申し上げます。

SHIBAURA

ORIGINAL GOODS

● 大学オリジナルグッズがリニューアル!

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。

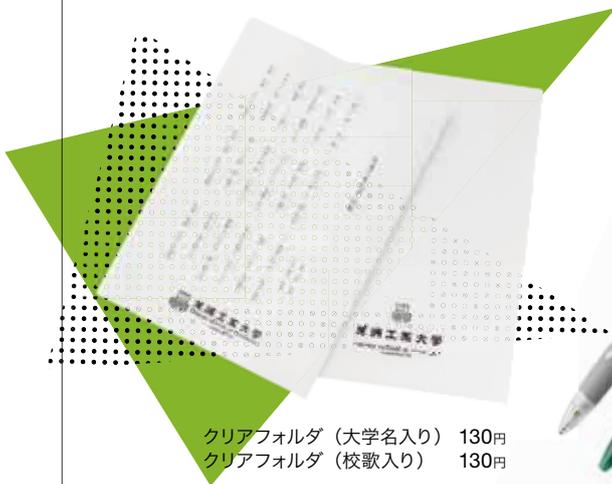
2014年よりマグカップやクッキーなども増え、ラインナップも豊富です。

一番人気は校章マークの入ったコロパンのクッキー、次いでマグカップ・湯飲みが好評です!



湯呑み 700円

マグカップ 750円



クリアフォルダ（大学名入り） 130円
クリアフォルダ（校歌入り） 130円



ボールペン 100円
シャープペン 100円



クッキー 9枚（箱入り） 700円
クッキー 19枚（缶入り） 1,400円

（※いずれも税込み）

豊洲キャンパス・大宮キャンパスでの店頭のみでの販売となります。
お問い合わせは、以下までお願いします。

芝浦工業大学消費生活協同組合
・豊洲購買書籍部（豊洲キャンパス）
TEL 03-5859-7900 FAX 03-5859-7911
・大宮コーププラザ（大宮キャンパス）
TEL 048-720-6600 FAX 048-686-6592

在校生就職支援ご協力をお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を立ちあげました。芝浦は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っていません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い致します。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

具体的な流れとしては、以下になります。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、平成29年3月現在、校友会を通した求人企業数は「約147社」でした。そのうち、内定者は14名でした。全国の関係者の皆様、誠にありがとうございました。

求人申込書：<http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>
 送付先：〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
 E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp
 T e l : (03) 5445-9634 F a x : (03) 5445-9635

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆表紙デザイン

建設工学専攻1年生 郷田修身 研究室

武田 恭明
 加藤祐太郎
 扇澤 拓也
 大澄 慧悟
 渡辺 薫

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務広報委員会

林田 和雄（昭和52年 建築学科卒）
 小平和一郎（昭和45年 電子工学科卒）
 藤田 利行（昭和62年 電気工学科卒）
 中根 眞行（昭和55年 工業経営学科卒）
 元井 彰（昭和55年 土木工学科卒）
 安藤 吉伸（平成4年 二部電気工学科卒）
 柏倉 隆行（平成12年 機械制御システム学科卒）
 中川 雅史（平成12年 土木工学科卒）
 滝下 勇（平成16年 二部電気設備学科卒）
 顧問 小川 誠（昭和41年 機械工学第二学科卒）

校友会事務局

岩本 行雄（昭和44年 工業化学科卒）
 秋間亜希子・三浦 敏枝・中根 瑛里

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

AGB 旭ビルウォール株式会社

URL: <http://www.agb.co.jp>

特別顧問

校友会会長 **鈴見 健夫** (S45 建築)

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8 階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

有限会社 ワンダー電機製作所

SET 有限会社 ワンダー電機製作所 代理店
SE テクノ株式会社

校友会副会長 (機械工学科 43 年卒)

取締役社長 **畠中 總一郎**

校友会副会長 (機械工学科 43 年卒)

代表取締役社長 **畠中 總一郎**

本社・工場 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4691 番地
〒224-0053 TEL.045-482-4916 FAX.045-482-4917
大手町事務所 東京都千代田区内神田 1-4-14 井上ビル 2F
〒101-0047 TEL.03-3259-1703 FAX.03-3259-1704
川崎事務所 神奈川県川崎市宮前区野川 2290-2
〒216-0001 TEL/FAX 044-797-2795
DooCoMo 090-4848-5981
E-mail: bz956087@bz03.plala.or.jp

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-4-14 井上ビル 2F
TEL 03-3259-1703 FAX 03-3259-1704
E-mail: s'hatanaka@r07.itscom.net

いい仕事には、体温がある。



代表取締役 **小川 達生**
(昭和51年 通信卒)

株式会社 **日新コンピュータシステム**

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL <http://www.nisin.co.jp/>



東西化学産業株式会社

本社/〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61
(ツイン21MIDタワー18階)
TEL. (06) 6947-5511 FAX. (06) 6947-5510

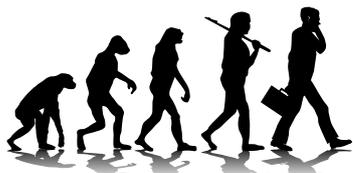
(株)宮建築設計

代表取締役 **宮本 博**

昭和 47 年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部長)

本社：徳島市福島 1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店：東京都中央区八丁堀 2-28-10 TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekkei.com>
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com

変わり続けるDNA



六興電気株式会社
代表執行役社長 長江 洋一

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 / TEL:03-3459-3366 / URL:<http://www.6kou.co.jp>

三井住友建設
<http://www.smcon.co.jp>

はしも、 まちも、 ひとも。

橋をわたり、街をあるき、大切な人とすぞす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。



人、街、社会、地球に優しい空間づくり

<総合ビルメンテナンス>

株式会社 リリマシステム

代表取締役社長 **鴻 義久**(昭和47年 土木工卒)

[本社] 〒220-8116
横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 16階
TEL:045(224)3552

B stem
<http://www.bstem.co.jp>



天・地・人を熟知し、環境をつくる。



MARUNISHI
株式会社 **丸西組**

代表取締役社長 西 正次 (昭和49年卒業)
〒923-0811 石川県小松市白江町ト121-1
TEL (0761) 22-6100 FAX (0761) 22-6123
front@marunishigumi.co.jp
<http://www.marunishigumi.co.jp>

緑化事業を通じて

就労支援を行っております

株式会社 **アカネ**

代表取締役 **金子 和平**
(昭和44年 経営工学科卒)

<http://akane-green.co.jp>

快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する

住友電設株式会社

取締役社長 **坂崎 全男**

<http://www.sem.co.jp/>

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。

三宝電機株式会社
SANPO

URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京都港区西新橋3-8-3ランディング新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311



総合建築設備業 戸田建設グループ

株式会社アベックエンジニアリング

代表取締役社長 **神野 兼次**

(校友会 副会長)

東京本部：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-6-1 八丁堀センタービル 4F
TEL 03-6222-2830 FAX 03-6222-2840

株式会社
TAW建築設計事務所



代表取締役 渡辺 碩
校友会 監査役
昭和45年建築学科卒

〒111-0042

東京都台東区寿2-8-11 大黒ビル5F
TEL:03-3841-7368 FAX:03-3841-7107
E-mail: taw@mvd.biglobe.ne.jp

代表取締役

泉澤 定雄

(昭和46年 建築学科卒)



有限会社

藍 建築工房

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町3-21-7
熊谷ビル3F

TEL 03-5825-6118
FAX 03-5825-6119



世界初の多能式自動券売機を開発
(日本機械学会 機械遺産「第50号」認定)
交通システム機器のパイオニア

株式会社 **高見沢サイバネテックス**

代表取締役社長 高見澤 和夫

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号
TEL 03-3227-3361
URL <http://www.tacy.co.jp>

芝浦工業大学 全国校友会



オークラホテルズ&リゾート
ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
TEL.03-5683-5683

 **戸田建設**



TODA Group Global Vision

“喜び”を実現する企業グループ

Quality gives priority to all
白石建設株式会社

いい建築ってなんだろう?



〒166-8540
東京都目黒区高円寺南4-15-11
TEL:03-3314-1101(代表)

<http://www.shiraishi-ken.co.jp>



PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 **原田**

代表取締役 **原田 義人**

〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
TEL 0274-40-3331 FAX 0274-40-3341

確かなものづくりで最先端技術を支える林グループ



林時計工業株式会社

REPIC

林栄精器株式会社

比内時計工業株式会社

本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目28番3号

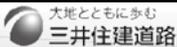
TEL : 03-3918-5237 URL: <http://www.htkgrp.co.jp>

連絡先: 安田俊司 平成4年機械二科卒

s-yasuda@htkgrp.co.jp

校友会相談役 金井昭三 昭和41年機械二科卒

sho-kanai@sky.plala.or.jp



THE WAY TO THE FUTURE

〒162-0055
東京都新宿区余丁町13番27号
三井住建道路株式会社
代表取締役社長 松井隆幸
TEL 03-3357-9081

三井住建道路は高い技術力により、生活・産業基盤の整備事業を通じて、顧客満足度を高め、社会に貢献します。

技術 経営 人財 の 育成 と 活用



一般財団法人

アーネスト育成財団

理事長 西河 洋一 (平成21年大学院 MOT 修了)

専務理事 小平 和一朗 (昭和45年電子工学科卒業)

理事 浅野 昌宏 (昭和44年電子工学科卒業)

評議員 柴田 智宏 (平成17年大学院 MOT 修了)

顧問 吉久保 誠一 (昭和39年機械工学科卒業)

東京都渋谷区代々木1-57-2 704号 TEL (03)6276-6260 <http://www.eufd.org>

株式会社 **あおぞら**

東京都宅地建物取引業協会会員
東京都知事免許(1)第99345号

代表取締役 **橋本 雅夫**

(S45 建築)

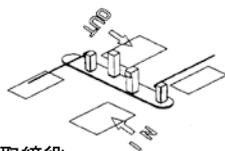
宅地建物取引士

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-2-4-102
携 帯 090-3687-0510
Tel 03-3460-8500
Fax 03-3460-8531
E-mail: gaohhashimoto@me.com

駐車場システム機器のご用命は



株式会社
カズサポロ
(日本信号株式会社代理店)



代表取締役

小川 博司 (S45年工業経営)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条1丁目7番19号
TEL (011) 853-5152 FAX (011) 853-5454

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事

中島建工株式会社

代表取締役 **中島 道宏**

埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20

TEL 048-886-8877

<http://www.nakajimakenko.co.jp/>

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守




〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL 03-6429-3600
不二熱学工業株式会社



芝浦工業大学柏中学高等学校
フィールド冷却細霧システム導入



〒164-0003 東京都中野区東中野3-20-10
TEL.03-5337-2611 FAX.03-5337-2610

一年で東京ドーム
120個分の面積に
家を建てる会社。



分譲住宅、日本一^{*2}



飯田グループホールディングス

代表取締役社長 **西河 洋一**

〒163-0246 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル46階
tel 03-5989-0923 <http://www.ighd.co.jp>

*1 当社が2014年度に生産した住宅の総土地面積を東京ドーム面積で除して算出
*2 分譲戸建住宅市場におけるシェア(2014年4月1日～2015年3月31日 住宅産業研究所調べ)

“環境の健康促進”が私たちの使命です。




株式会社 東京サーマル
TOKYO-THERMAL

〒108-0075 東京都港区港南1-6-34 品川イースト3F
TEL:03-6712-0877(代表) FAX:03-6712-9977(代表)
URL:<http://www.tokyo-thermal.co.jp> mail:tokyo-thermal@tt-shinagawa.jp
・空気調和・衛生設備設計施工



創業1586年 技術・信用・伝統・新しい力へ…



松井建設株式会社

〒104-8281 東京都中央区新川1丁目17-22
TEL: 本社 (03)3553-1150 東京支店 (03)3553-1171
ホームページ <http://www.matsui-ken.co.jp/>

一建設株式会社



代表取締役社長 堀口 忠美

東京都練馬区石神井町2-26-11
TEL 03-5393-3071
URL <http://www.hajime-kensetsu.co.jp>



飯田産業

いいだの「自由な」いい家。

それは「お客様の要望をすくでも叶えたい」
そんな気持ちでスタートしました。

代表取締役社長 兼井 雅史

東京都武蔵野市境2-2-2
TEL 0422-36-8848
URL <http://www.iidasangyo.co.jp>

山形の手作りの地酒



朝日川酒造株式会社

山形県西村山郡河北町谷地乙93

長州萩の美酒 長陽福娘



岩崎酒造株式会社
代表取締役 岩崎喜一郎
山口県萩市大字東田町58番地
TEL0838-22-0024

株式会社 **東栄住宅**



代表取締役社長 西野 弘

東京都西東京市芝久保町4-26-3
TEL 042-463-0220
URL <http://www.touei.co.jp>

タクトホーム株式会社



代表取締役社長 小寺 一裕

東京都西東京市東伏見3-6-19
TEL 042-464-8788
URL <http://www.tacthome.co.jp>

Joyous Life **正直屋**
グループ

創業大正十三年

**パーティ、高級仕出し、
会議用弁当は正直屋に
おまかせください!**

●ご注文・お問い合わせは
東京正直屋
0120-33-1171
<http://www.shojikiya.co.jp/>

岐阜 日本料理 **ひし**

地元の素材を厳選し、地味溢れるお料理で皆様をお迎えしております。

岐阜県岐阜市 米屋町25
Tel 058-265-3601



岐阜支部長 平井良樹
1982年 工業経営学科 卒

株式会社 **アーネストワン**

一人でも多くの方に
マイホームを



代表取締役社長 松林 重行

東京都西東京市北原町3-2-22
TEL 042-461-6288
URL <http://www.arnest1.co.jp>

アイディホーム株式会社



代表取締役社長 久林 欣也

東京都新宿区高田馬場3-46-25
TEL 03-5337-6988
URL <http://www.idhome.co.jp>

大型コンベヤ事業、立体駐車装置事業で
社会のインフラ整備、都市空間の創造に貢献

NCホールディングス株式会社



本社 東京都千代田区鍛冶町1-7-7 ヒルトップ神田ビル
<http://nc-hd.jp/>

ミクロの精度を追求する電子部品メーカー



代表取締役社長 武内 延公 (昭和53年機械工学第二学科卒)
<http://www.enomoto.co.jp>

人が集うところに、
コトブキのイスがあります。
www.kotobuki-seating.co.jp



製造企業様の期待に建築と設備で応えます

K&I 倉沢建設株式会社

代表取締役社長 倉沢 延寿
(1994年通信工学卒 1997年建築工学科卒)

〒350-1106 埼玉県川越市小室566-2
TEL 049-241-6789

<http://kurasawa-const.com/>



新日本リフォーム株式会社

- 大規模修繕工事 ●耐震補強設計・補強工事
- 給排水・空調設備工事
- 個人宅リフォーム工事

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-13 三建室町ビル4階
TEL:03-3241-8814 FAX:03-3270-1538
URL:<http://www.sn-reform.co.jp/> 担当:渡辺

KOKUYO
ひらめき・はかどり・こちよさ

コクヨマーケティング株式会社
〒108-8710
東京都港区芝浦1-8-35

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

造園設計施工・緑化土木事業
株式会社
豊橋園芸ガーデン
<http://www.garden-g.com/>

代表取締役社長 榊原 周造
(1970年卒 建築工学科)

本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64
電話0532(45)6679 ファックス0532(48)5613
名古屋事業所・知多事業所

芝浦工業大学

柔道部OB会
会員一同



日通G芝浦会

大学創立90周年おめでとうございます

世話役 飯島 敏春 (S54年機械卒)

株式会社
計画設計

代表取締役
佐久間 義信
(昭和60年 土木工学科卒)

東京都北区滝野川6-76-9エスポワールオチアイ3F
〒114-0023 tel:03-5907-7083 fax:03-5907-7283

群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 諭
(1975工化卒、1977工化 修士修了)

本社 工場:〒375-0054 群馬県藤岡市上大塚1713-2
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
藤岡第二工場:〒375-0055 藤岡市白根1444
吉井工場:〒370-2111 高崎市吉井町小車792-1
E-mail: onsuki@guncera.co.jp
<http://www.guncera.co.jp/>

H02 工化卒
伊藤 博之



わいん厨房
たるたる

予約用アドレス tartarwine@gmail.com
営業時間 9:00~18:00 (土日祝 PM 3:00~)
東京都中央区銀座9-12-1セイコー銀座ビル2F TEL.03-5565-9898



ISUZU

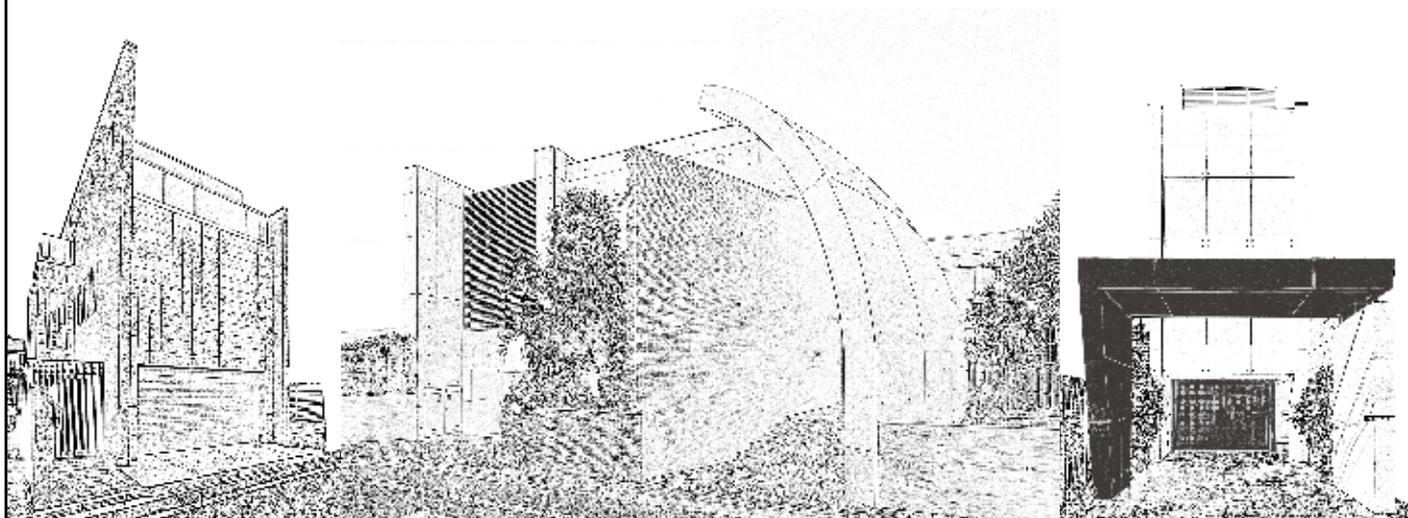
「運ぶ」を支える
グローバルカンパニー



いすゞ自動車株式会社
〒140-8722
東京都品川区南大井 6-26-1
大森ベルポートA館
<http://www.isuzu.co.jp/>

Earnest architects

「豊かな住まいが、人生を豊かに」



高級住宅専門の建築設計事務所アーネストアーキテツ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-5-1
お問合せ先：03-3769-3333
HP：www.earnest-arch.jp

アーネストアーキテツ 検索

アーネスト青山ギャラリー
東京都港区南青山6-4-6
almost blue A棟-II
TEL:03-6450-6772

アーネストグループ大阪
大阪府大阪市西区新町1-28-3
四ツ橋グランスクエア9階
TEL:06-6537-7731

アーネストグループ沖縄
沖縄県那覇市天久762-14
クリアビル 5階-B
TEL:098-988-3500



機械工学科 43 会

会長 **畠中 總一郎**
昭和 43 年(1968 年)卒

〒101-0047
東京都千代田区内神田 1-4-14 井上ビル 2F
TEL 090-4848-5981

2020年に100周年を迎えます。

尾畑長硝子株式会社

代表取締役社長 **尾畑 雄二郎**
(昭和 46 年 建築学科卒)

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目 25番 28号
TEL : 052-261-1721 FAX : 052-241-1440

UCHIDA

顧問

向井 眞一

(芝浦工業大学評議員)

株式会社 **内田洋行**

〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7 03-3555-4072

COLPISOS
architectural design co., Ltd.

株式会社 コルピソス 一級建築士事務所
〒157-0061 東京都世田谷区北島山9-1-4 コルピソス1F

代表取締役 伴場吉之 (K80124)

代表 **神尾 雅陽**
1981年 建築学科卒

〒311-2215
茨城県鹿嶋市和 825-2
株式会社 くぬぎの森
有限会社 エスエス住建
TEL 0299-90-9900
FAX 0299-90-9955
mail kunuginomori@ab.wakwak.com

次世代へ受け継ぐための
“都市環境と自然の共生”。

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL.03-3882-2571 FAX.03-3881-8545
<http://www.nisshinkogyo.co.jp/>

**BADGE & MEDAL
FACTORY**

NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.

since 1918

有限会社 **中島徽章**

代表取締役 **中島博行**
(昭和60年 倉庫科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005
<http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/>



成長と連携
—が創る形—

日本金属株式会社

<http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

本社：〒108-0014 東京都港区芝5-30-7 TEL.03-5765-8111(大代表)
大阪支店：TEL.06-7711-6133 名古屋営業所：TEL.052-962-6671

日本金属グループは、永年培ってきた
圧延・加工技術と情熱で新しい価値を創出し
いつまでも輝き続ける企業を目指します。
市場の変化に機敏に対応できる人材の育成と
幅広いパートナーとの連携により、
世界のお客さまの課題解決に
迅速にお応えしてまいります。

サイン・グラフィック
デザイン / 企画 / 設計 / 施工

株式会社 **アダチ**

東京事業所

東京都千代田区岩本町 2-3-3-905
TEL/03-3863-6298 FAX/03-3863-6299
<http://www.adachi-web.co.jp/>

心を形に表す

Ishii Architect & Associates



株式会社 **石井建築事務所**

〒413-0011 静岡県熱海市田原本町 3-1
TEL 0557-82-4171 FAX 0557-82-4174
<http://www.ishii-aa.com/>

—顧客満足度・地域No.1を目指して—



ISHIKAWA

総合建設業

石川建設株式会社

代表取締役社長 **石川 雅之**

本社 〒373-0853
群馬県太田市浜町10番33号
0276-45-1621(代)
URL <http://www.ishikawa-inc.co.jp>

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

日比谷総合設備

HIIBIYA

日比谷総合設備株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館
<http://www.hibiya-eng.co.jp/>

次の100年に向け、技術とともに歩む。



東光電気工事株式会社

TOKO ELECTRICAL CONSTRUCTION CO., LTD.

- 内線事業 ●外線事業 ●新エネルギー事業
- 空調・衛生事業 ●海外事業 ●事業開発

本社 〒101-8350 東京都千代田区西神田1丁目4番5号 TEL (03)3292-2111
<http://www.tokodenko.co.jp/>

ジャンププロテクショングループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします

警備業を軸に環境事業・人材派遣・調査の
トータルマネジメントサービスを提供する

ジャンププロテクション株式会社
102-0004 東京都千代田区二番町5-7 JP本社ビル
03-3265-6861(代) <http://www.jp-group.jp>

環境チャレンジ!
TakasaGo!

高砂熱学工業株式会社

代表取締役会長兼社長執行役員 **大内 厚**

東京都新宿区新宿 6-27-30
新宿イーストサイドスクエア 12 階
電話 03 (6369) 8212
<https://www.tte-net.com>

新しい製品を
生み出し続ける
業界の
パイオニア

降下型避難機器
UDエスケープ
販売開始

ナカ工業株式会社

<p>Kinden きんでん 東京支社</p> <p>常務執行役員 支社長 上坂 隆勇</p>	<p>社会福祉法人 みらい ..どんな障がいを持った人も、地域で生活できるように..</p> <p>理事長 柴田 勇夫 (昭和43年機械工学科卒)</p> <p>〒507-0827 岐阜県多治見市平和町6-364 TEL0572-22-1011 FAX0572-22-0911</p>	<p>よい品は結局おトクです オカムラ 株式会社 岡村製作所 日本橋支店</p> <p>東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラスタワー 11階 TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419</p> <p>http://www.okamura.co.jp/</p>	<p>消防用設備施工保守管理 赤城工業株式会社</p> <p>東京都板橋区氷川町43-4 TEL 03(3963)3711(代表)</p>
---	--	---	--

株式会社 遠藤製作所
(昭和43年卒 機械工学科)

代表取締役社長 **遠藤 亘持**
ENDOH NOBUYOSHI

〒362-0058 埼玉県上尾市上野 537 番地
TEL. 048 (725) 2061(代)
FAX. 048 (725) 2063
E-mail: info@endohss.com
<http://www.endohss.com>

関東自動車株式会社
各種送迎バスのご用命は...

埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-14
TEL : 048-831-2611
FAX : 048-825-6620
E-mail: info@kanto-m.co.jp
URL : <http://www.kanto-m.co.jp>

有限会社
エコ・セフティ
吉野 巖
昭和43年機械工学科卒

〒101-0047
東京都千代田区内神田 1-4-14 井上ビル 2F
TEL : 03-3259-1702 携帯 : 090-2629-6374
E-mail : iwao@eco-safety.biz

With Your Life
日本通運
NIPPON EXPRESS

日本通運株式会社
東京オフィス・サービス支店秋葉原事業所営業課
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地3号
連絡先 03-5835-2781
URL <http://www.nittsu.co.jp>

SHMZ

夢から未来を始めよう。



子どもたちに語れるしごとを。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設
シミズ・ドリーム 検索

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税、贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般

朱田 税務 会計 事務所

税理士 朱田 光洋
(芝浦工業大学評議員)

税理士 坂本 幸久

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番10号
西勤本店ビル4F
TEL 03-3548-3315 FAX 3548-3316

JRいわき駅より徒歩1分
HOTEL IWAKI

〒970-8026
福島県いわき市平字白銀町8-9
TEL 0246-23-3188 FAX 0246-23-3128
HPからのご予約
<http://www.hotel-iwaki.com/>

**「建てる」は、「防ぐ」こと。
それが、トビシマ。**

トビシマは、高度な防災・減災技術を進化させ、
安全で安心な都市と環境のために
トータルサービスによるソリューション事業を展開し、
お客様へ新しい価値の提供ができる
社会に「なくてはならない企業」を目指します。



飛島建設 本社/〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
TEL 03-6455-8300 <http://www.tobishima.co.jp>

建築学科 元枝広研究室 OB・OG 会【枝豆会】幹事会有志

(建築学科 一般構造研究室⇒生産研究室⇒材料施工研究室)

幹事会有志 代表: 枝広 英俊(1971年卒)

幹事: 辻村 建(1971年卒), 加治喜久夫(1974年卒), 浅見 勝(1976年卒)
林田 和雄(1977年卒), 北村 正光(1983年卒), 平林 重徳(1985年卒)
田仲 郁之(1987年卒), 鶴 浩一郎(1988年卒), 芹澤 尚明(1989年卒),
大日向利之(1991年卒), 長谷部美紅(2012年卒), 山田 幸(2014年卒) 他



枝豆会



不動産建設芝浦会

当会は我が芝浦工業大学出身者の、不動産業及び建設業に関わりのある方々の親睦を
図り、情報交換・研修活動等を通じて、社会ならびに母校に貢献する事を目的として、
平成26年に発足しました。目下、大学不動産連盟への加入を目指し日々活動しています。

代表世話人 清水修司 (S44年 建築学科卒) (株SD建築企画研究所 代表取締役)

当会では入会希望者を募集しています。
ご興味がある方は是非下記事務局準備室までご連絡ください。

事務局準備室 TEL 03-3485-1111 (株SD建築企画研究所内)

建築とまちづくり

株式会社 アルセッド建築研究所

代表取締役 所長 三井所 清典

代表取締役 副所長 大倉 靖彦

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号
電話 03-3409-4532 FAX 03-3409-3394
<http://www.alsed.co.jp>



地質調査・環境調査

株式
会社 アースリサーチ



守りたい 守れる力
Wishing for Your Safety

Since 1918

ヤマトプロテックは、総合防災メーカーとして、
「かけがえのない人命と財産を守りたい」という思いを掲げ、
永年にわたり防災事業に携わってきました。
これからも皆さまの信頼にお応えできるよう、
安全な社会づくりに貢献していきます。

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03) 3446-7151 (代)



明日の「働く」を、デザインする。

We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

株式会社イトーキ

東京都中央区入船3-2-10 〒104-0042

お客様相談センター ☎ 0120-164177

URL <http://www.itoki.jp/>



建物を育て 未来へつなぐ

ハートフル♥エンジニアリング

株式
会社 アサヒ ファシリティズ

建物維持管理事業 / 不動産事業 / 保険代理事業

林 誠 (昭和47年卒 建築工学科)

〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号 TEL. (03) 5683-1181



大末建設株式会社



「大きな安心」末ながく

東京本店：〒136-8517 東京都江東区新砂1丁目7番27号

TEL.03-5634-9101

執行役員 鶴 浩一郎 (S63年卒 建築学科)

人事・総務・経理部門の方へ

廣済堂の

マイナンバー情報収集代行サービス

ラクラク!



安心・安全!



コスト安!



少人数のマイナンバー情報収集にも
ご対応します。まずはご相談ください。

KOSAIDO 株式会社 廣 済 堂
ソリューション本部

〒108-8378 東京都港区芝4-7-8

TEL 03-5484-8811

URL <http://www.service-kosaido.jp/>

杭工事全般 設計・施工一式

- コンクリートパイル各種高支持力工法
- 中低層建設物基礎・狭地対応工法
 - ・E A Z E T工法 (鋼管杭回転工法)
 - ・ATTコラム工法 (コラム+羽付き鋼管)

生和テクノス株式会社

代表取締役 佐藤 正行

本社
〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵3丁目1番2号
TEL (048) 864-1731 FAX (048) 864-2365

分室
〒125-0062 東京都葛飾区青戸5丁目19番9号
TEL (03) 6662-9130 FAX (03) 6662-9135





芝浦工業大学 校友会